

WEBアンケート結果

令和2年3月26日
環境省

1. 分析の概要/アンケート質問一覧

2. 分析結果

2-1各回答についての年代・地域別の差異の分析

2-2除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2-3福島県内の状況への理解度

2-4昨年度と今年度との比較

1-1 分析の概要

- 実施期間：令和元年10月4日～11日
- 対象者：20代～60代の男女、北海道、東北地方（福島県を除く）、福島県、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州・沖縄地方の9地域で各400名（計3,600名）。
- 昨年度と同じ質問の他、実証事業の認知度や福島の現状に関する認知度についても新たに質問。

◆WEBアンケート調査の結果から各回答毎に年代（20, 30, 40, 50, 60代）と地域（福島県とそれ以外の全国）についてその差異を分析した。

◆選択肢が多い回答については、同一のグループとみなせるグループにマージして分析した。

◆「わからない」の回答に関しては傾向を知るために外して分析を行った。

1-2 アンケート質問一覧

①一般市民の関心と態度の把握（除去土壌の減容・再生利用／最終処分について）

Q1：あなたは、除去土壌等が中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分されると法律で定められていることをどの程度ご存知でしたか。

Q2：あなたは、除去土壌等の福島県外での最終処分の方針について、何で情報を得ましたか。

（Q1で「内容をよく知っていた／聞いたことがあり、内容も少し知っていた／聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった」と回答した方のみ）

Q3：あなたは、除去土壌の再生利用について、その内容をどの程度ご存知でしたか。

Q4：あなたは、除去土壌の再生利用について、何で情報を得ましたか。

（Q3で「内容をよく知っていた／聞いたことがあり、内容も少し知っていた／聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった」と答えた方のみ）

Q5：あなたは、除去土壌の再生利用について、どの程度関心をお持ちですか。

Q6：あなたは、除去土壌を再生利用する必要があると思いますか。

Q7：あなたは、除去土壌の再生利用は安全だと思いますか。

Q8：あなたは、除去土壌の再生利用を進めることに賛成ですか、それとも反対ですか。

Q9：あなたは、自身のお住まいの地域で除去土壌の再生利用が実施されても良いと思いますか、それともいやだと思いますか。

Q10：あなたは、除去土壌の再生利用を進めることについて社会的に理解を得ることは可能であると思いますか。

②施策内容に対する評価、関心（現状の福島県への関心度）

Q11：あなたは以下のそれぞれについて、その内容をどの程度ご存知ですか。

福島県産の米の全袋検査の実施状況について/福島県産の食品の検査の実施状況について/福島県内の避難指示区域の解除など区域の見直しの状況について/福島第一原子力発電所の廃炉に向けた動きについて

③一般市民の関心と態度の把握（環境省に対する信頼等）

Q12：あなたは、除去土壌の再生利用に関する環境省のホームページを見たことがありますか。また、どの程度見たことがありますか。

Q13：Q12で見たことがない、わからないと回答した方への質問です。その理由は何ですか。

（Q12で「見たことがない／わからない」と答えた方のみ）

Q14：除去土壌の再生利用に関する情報の発信源として信頼できると考えられる機関・媒体をお答えください。

④施策内容に対する評価、関心（実証事業に対する評価、関心等）

Q15：あなたは、福島県にて除去土壌の再生利用の実証事業を行っていることを知っていましたか。

Q16：あなたは、令和元年5月に福島県飯舘村長泥地区で実施されている除去土壌の再生利用の実証事業がマスコミに公開されたことを知っていましたか。

Q17：あなたは、除去土壌の再生利用を行っている実証事業の場所を見学したいと思いますか。

Q18：除去土壌の再生利用に関する以下の内容で特に関心のある事項をお答えください。

Q19：除去土壌の再生利用に関して、ご意見があればご記入下さい。（自由記述）

1. 分析の概要

2. 分析結果

2-1各回答についての年代・地域別の差異の分析

2-2除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2-3福島県内の状況への理解度

2-4昨年度と今年度との比較

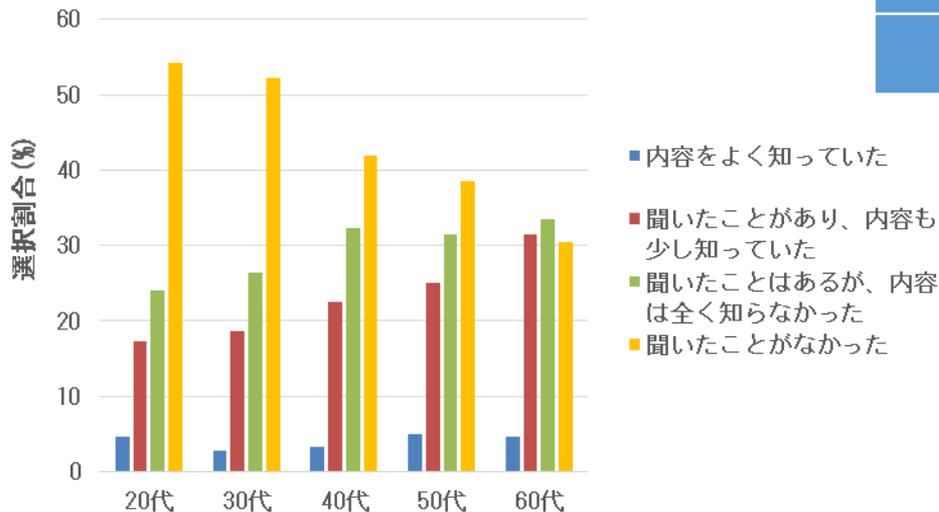
2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

1) Q1：あなたは、除去土壌等が中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分されると法律で定められていることをどの程度ご存知でしたか。

1) - 1 年代別

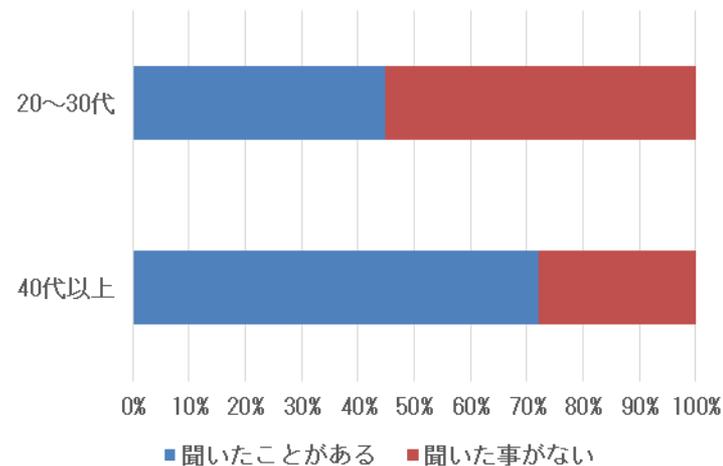
年代別では「聞いたことがある」との回答は40代以上では約70%である。

Q1（年代別）



内容をよく知っていたを除いて集計	聞いた事がある	聞いた事がない
20～30代	524	642
40代以上	1411	543

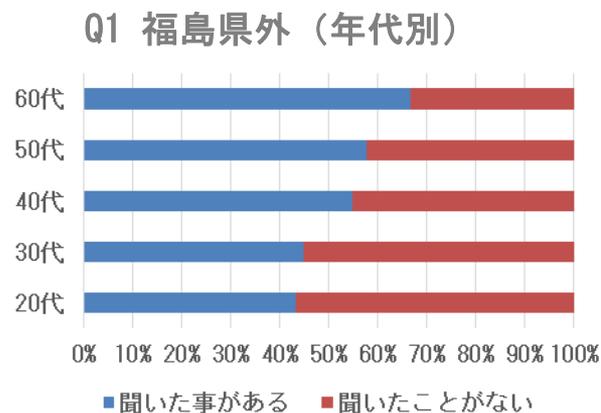
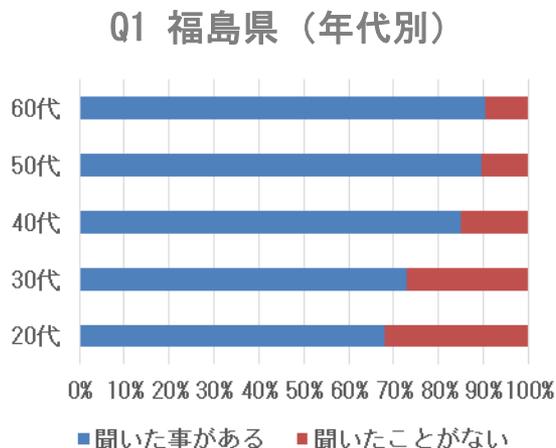
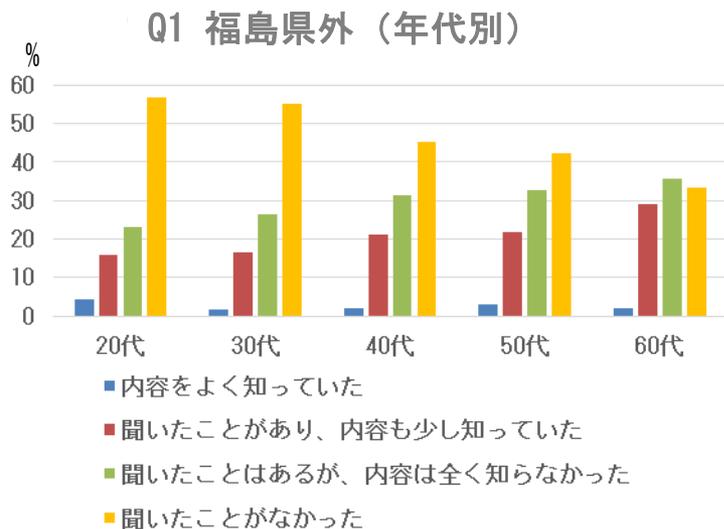
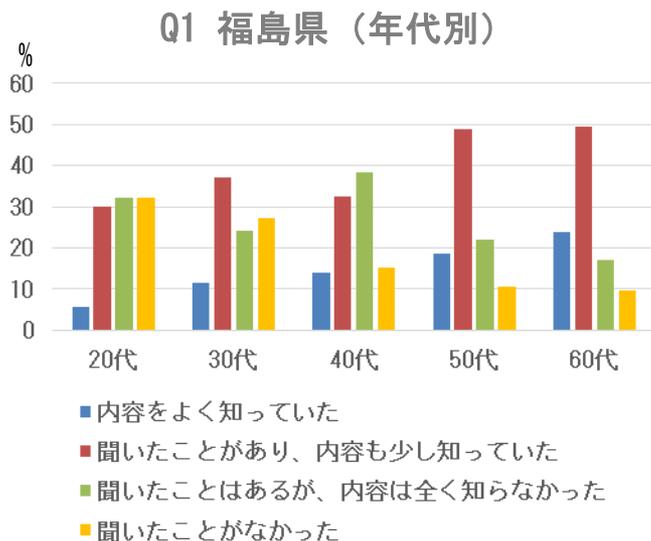
Q1（年代別）



2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

1) - 2 地域別

福島県の方が福島県外より認知度は高い。
 福島県外では「聞いたことがなかった」の回答の割合が高い傾向にある。ただし、年代が低くなるにしたがい高くなる傾向は福島県でも福島県外でも同様である。

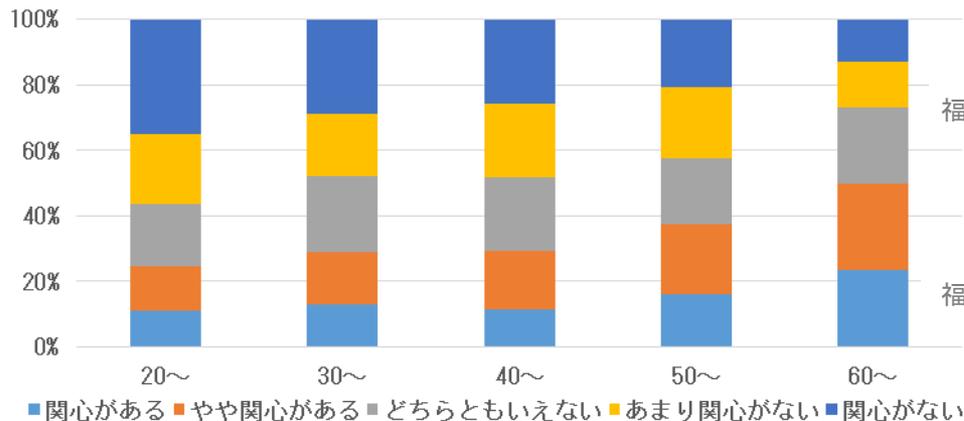


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

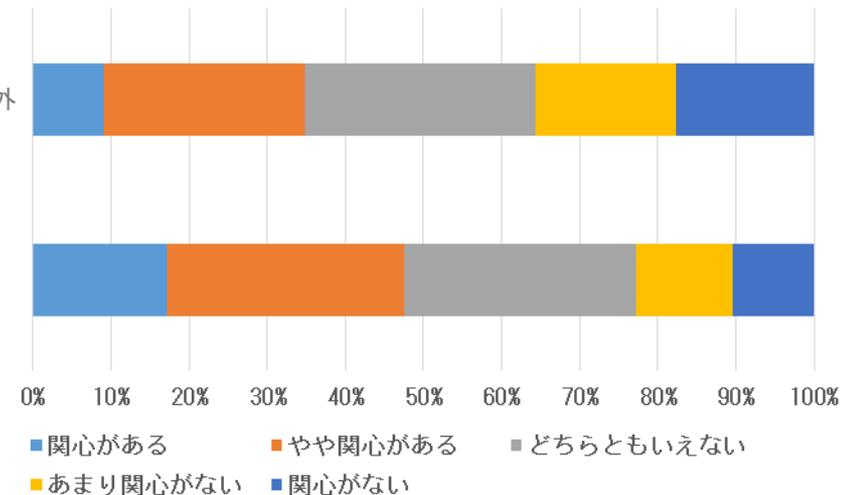
2) Q5：あなたは、除去土壌の再生利用について、どの程度関心をお持ちですか。

年代別では大きな差はないが、福島県と福島県外では関心度の違いが見られる。

Q5（年代別）



Q5（地域別）

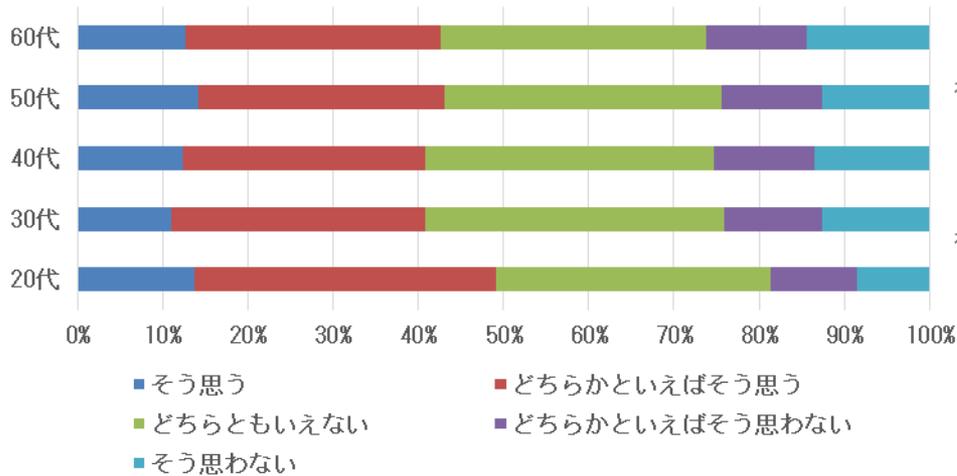


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

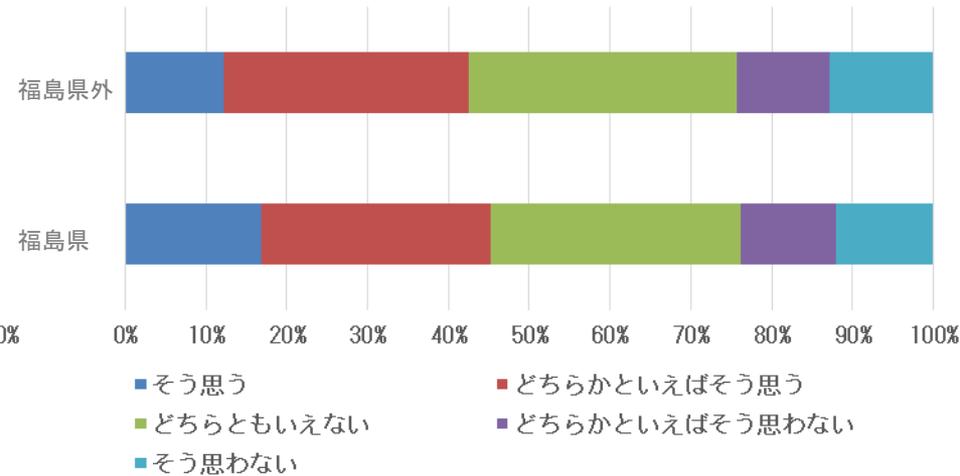
3) Q6：あなたは、除去土壌を再生利用する必要があると思いますか。

年代別、地域別ともに大きな差はない。

Q6（年代別）



Q6（地域別）

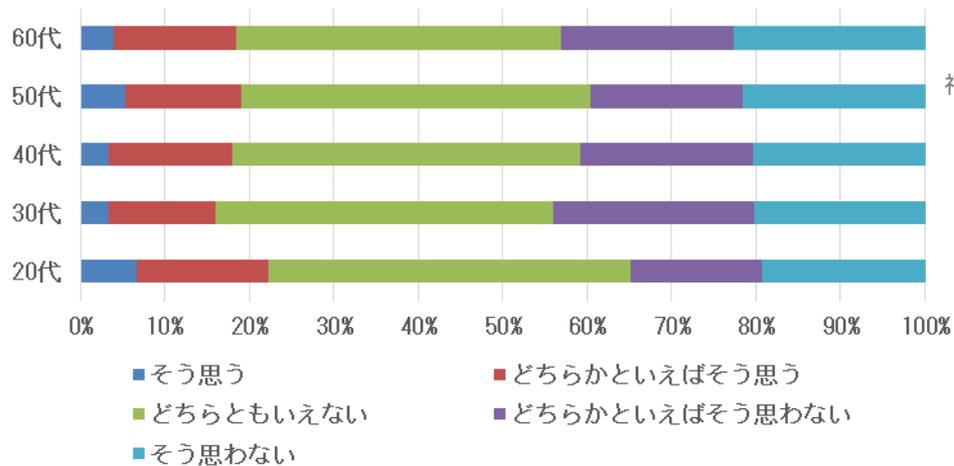


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

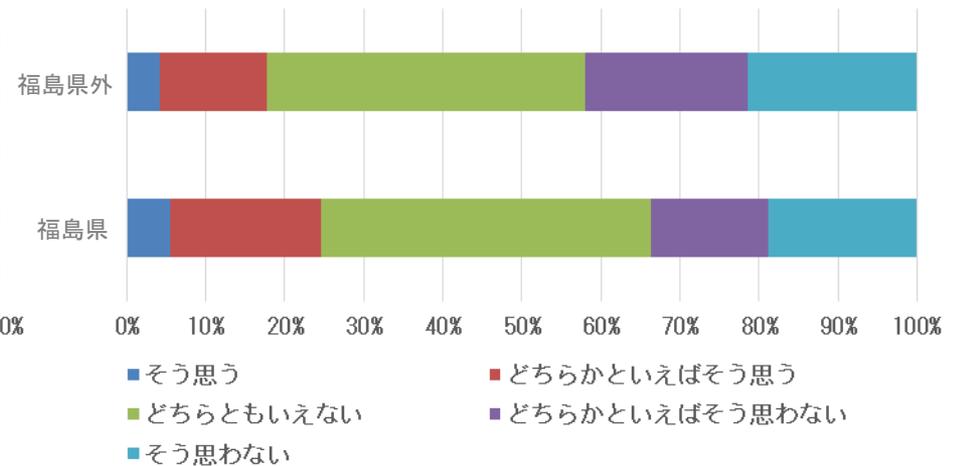
4) Q7：あなたは、除去土壌の再生利用は安全だと思いますか。

年代別、地域別では大きな差はない。

Q7（年代別）



Q7（地域別）

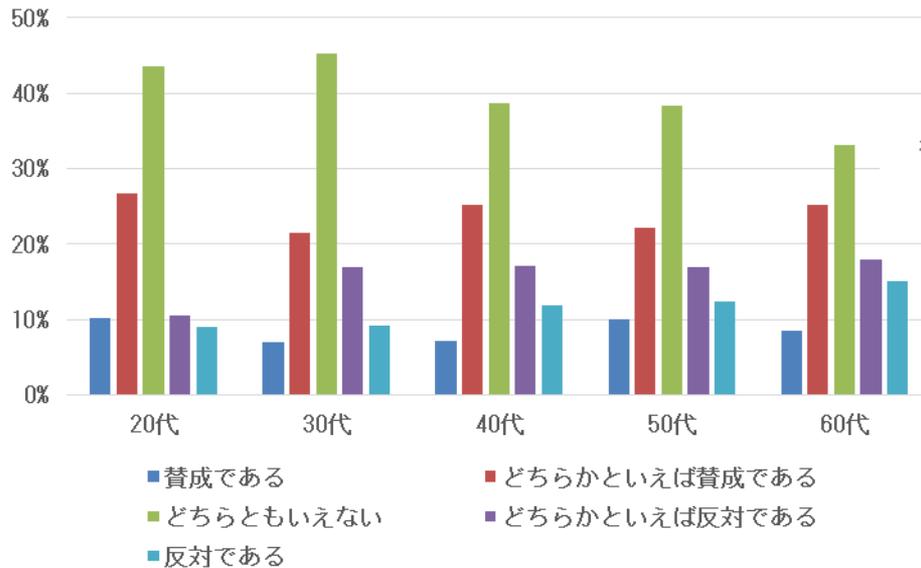


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

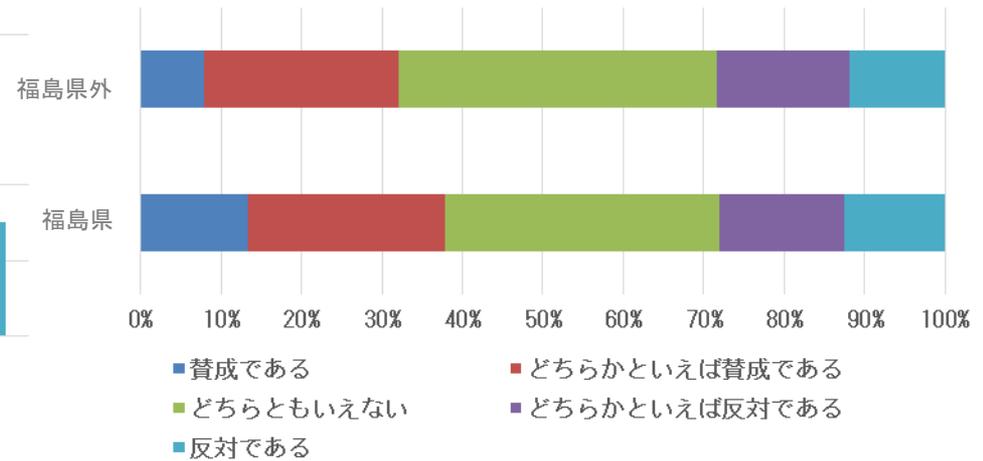
5) Q8：あなたは、除去土壌の再生利用を進めることに賛成ですか、それとも反対ですか。

年代別、地域別ともに「どちらともいえない」の割合が最も多く、「賛成」「どちらかといえば賛成」及び「反対」「どちらかといえば反対」については、どちらも一定数の回答があった。

Q8（年代別）



Q8（地域別）

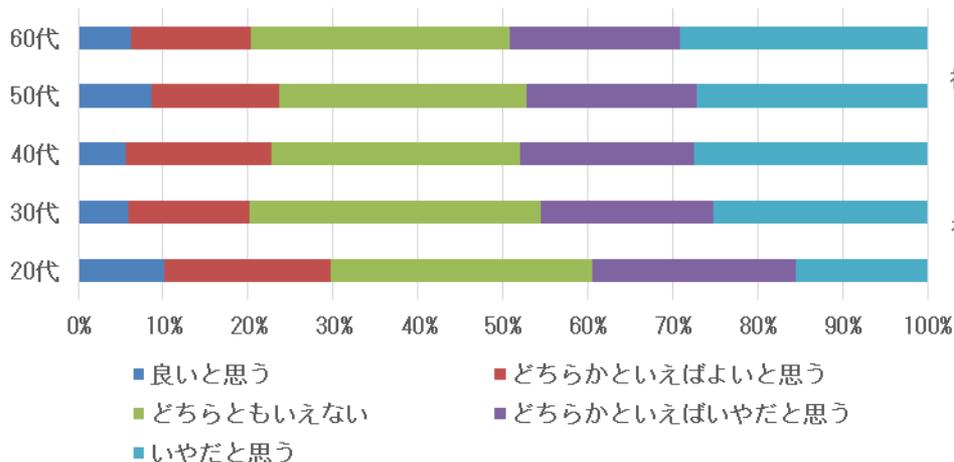


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

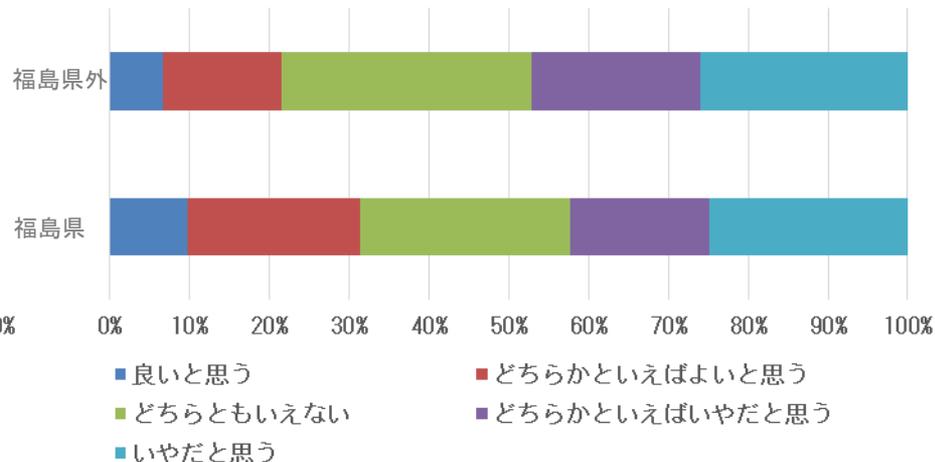
6) Q9：あなたは、自身のお住まいの地域で除去土壌の再生利用が実施されても良いと思いますか、それともいやだと思いますか。

年代別、地域別ともに「どちらともいえない」の割合が最も多く、「良いと思う」「どちらかといえばよいと思う」及び「いやだと思う」「どちらかといえばいやだと思う」については、どちらも一定数の回答があった。

Q9（年代別）



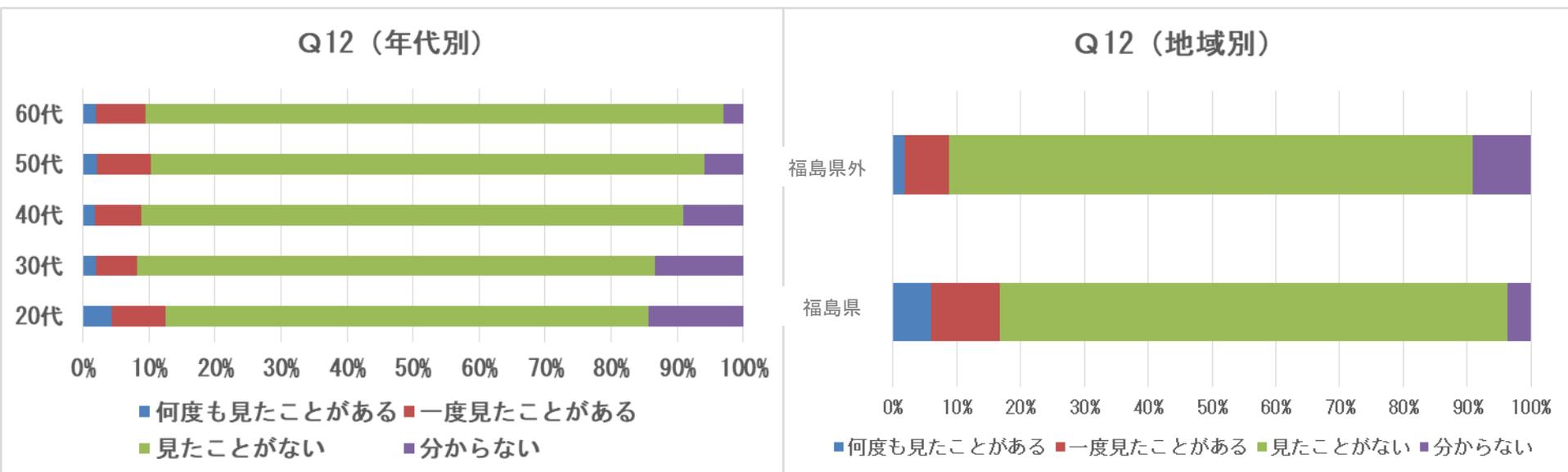
Q9（地域別）



2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

7) Q12：あなたは、除去土壌の再生利用に関する環境省のホームページを見たことがありますか。また、どの程度見たことがありますか。

年代別では大きな差はないが、地域別では福島県の方が「見たことがある」との回答の割合は若干高い。ただし、「見たことがない」との回答は約80%である。

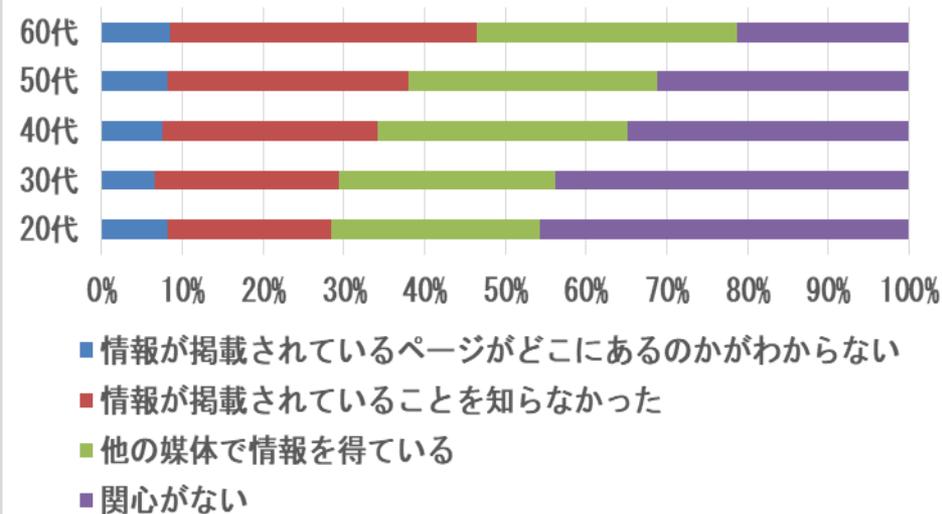


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

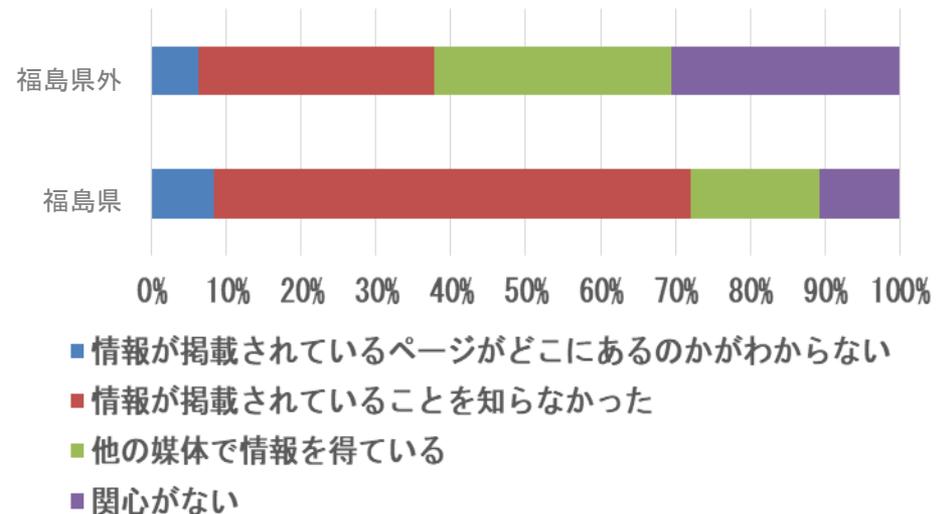
8) Q13 : Q12で見たことがない、わからないと回答した方への質問です。その理由は何ですか。

年代・地域による有意な差異がある。
福島県にて「情報が掲載されていることを知らなかった」が約60%であり、福島県外では「関心がない」の割合が高い。

Q13 (年代別)



Q13 (地域別)



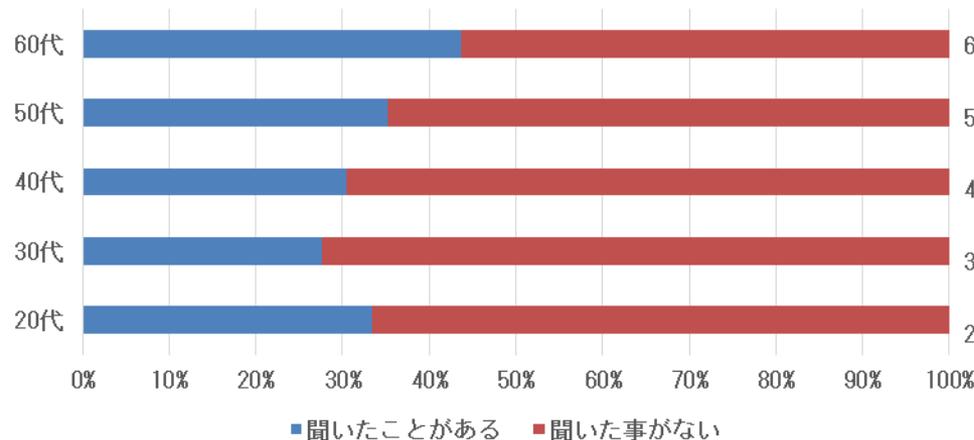
2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

9) Q15：あなたは、福島県にて除去土壌の再生利用の実証事業を行っていることを知っていましたか。

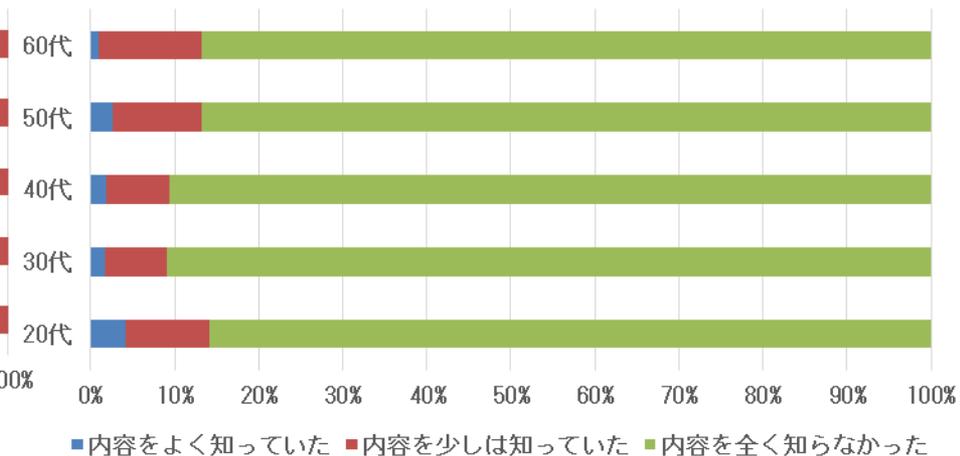
回答は「内容を良く知っていた」、「聞いたことがあり内容は少し知っていた」、「聞いたことはあるが内容を全く知らなかった」、「聞いたことがなかった」、の4択となっている。これを聞いたことがある・ない、内容を知っていたか知らなかったか、に分けて検討した。

年代別で年代が高くなるにしたがって聞いたことがあるが多くなるが、20代と30代では逆転している。

Q15（年代別）



Q15（年代別）

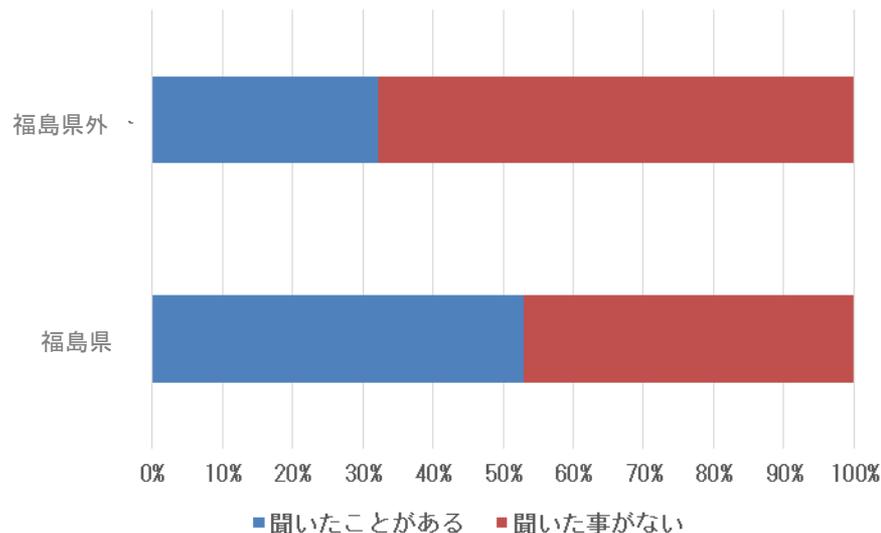


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

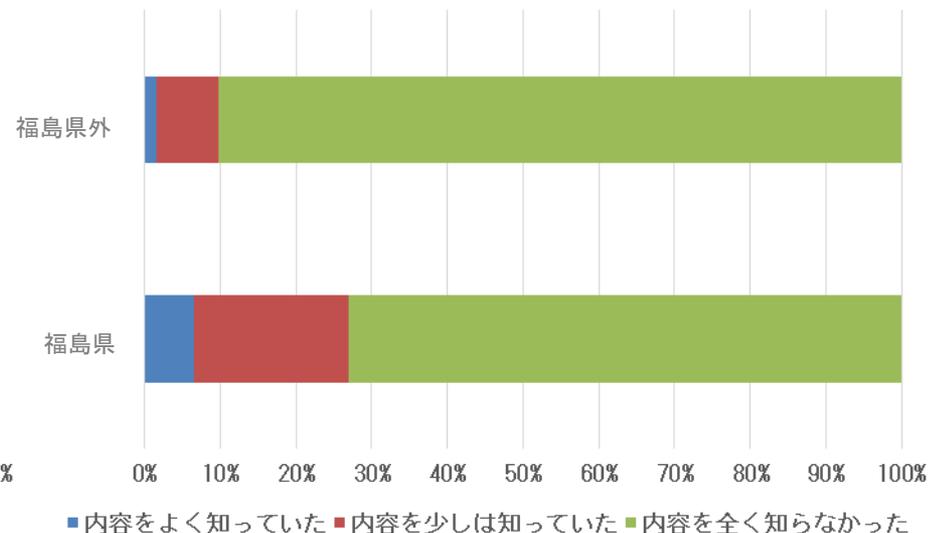
10) Q15：あなたは、福島県にて除去土壌の再生利用の実証事業を行っていることを知っていましたか。

福島県外では「内容を全く知らない」との回答は約90%である。

Q 15（地域別）



Q 15（地域別）

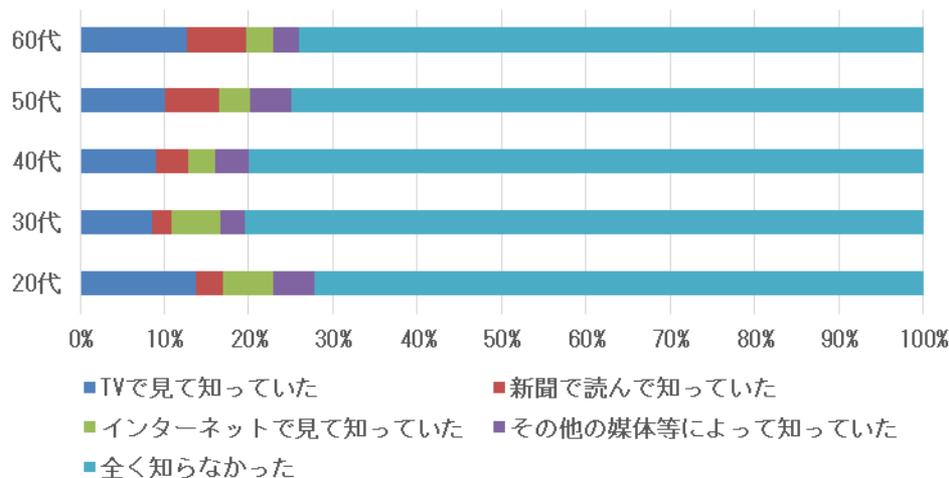


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

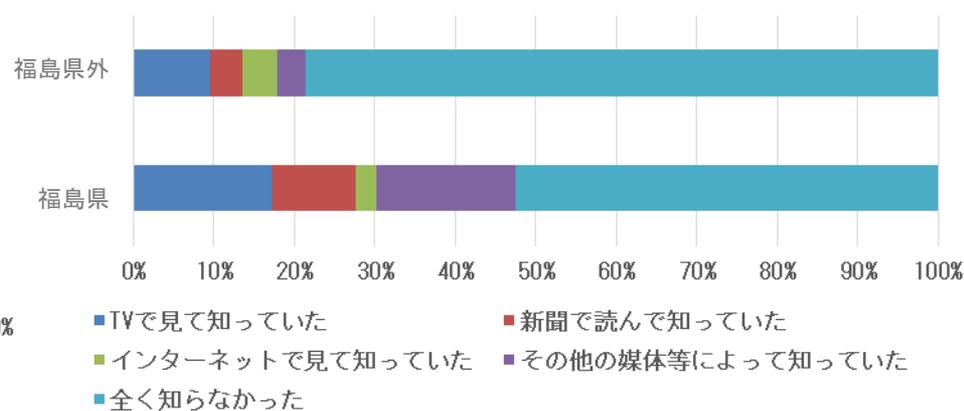
11) Q16：あなたは、令和元年5月に福島県飯舘村長泥地区で実施されている除去土壌の再生利用の実証事業がマスコミに公開されたことを知っていましたか。

年代、地域別でそれぞれ差が見られる。福島県では福島県外よりは認知度は高いものの「全く知らなかった」との回答は約50%である。

Q16（年代別）



Q16（地域別）

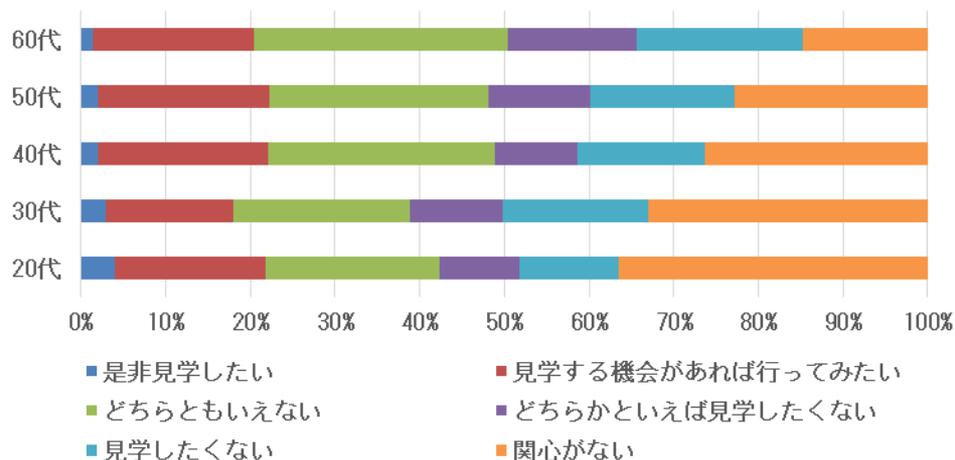


2-1 各回答についての年代・地域別の差異の分析

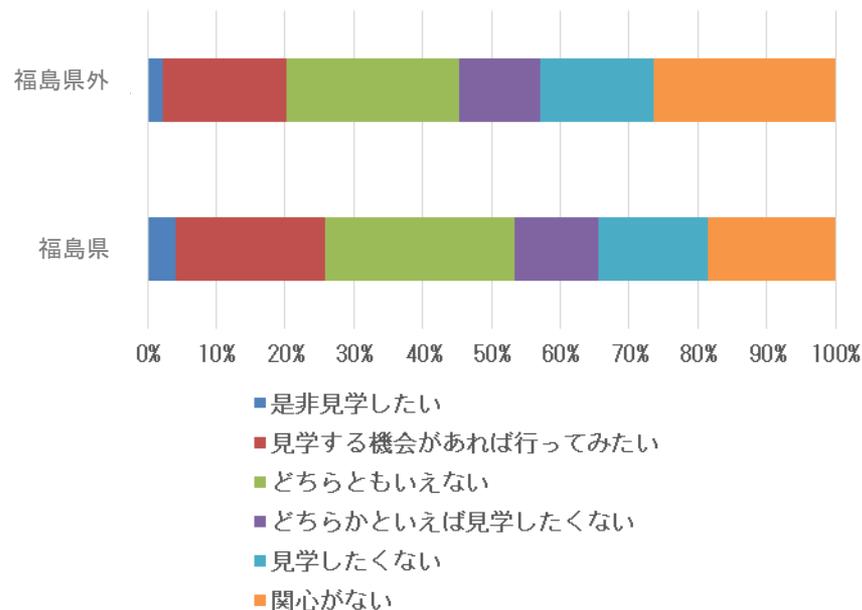
12) Q17：あなたは、除去土壌の再生利用を行っている実証事業の場所を見学したいと思いませんか。

どの年代でも「是非見学したい」「見学する機会があれば行ってみたい」との回答は約20%であり、地域別でも同様である。

Q17（年代別）



Q17（地域別）



1. 分析の概要

2. 分析結果

2-1各回答についての年代・地域別の差異の分析

2-2除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2-3福島県内の状況への理解度

2-4昨年度と今年度との比較

2-2 除去土壌の再生利用についての情報入手方法

目的：回答者が除去土壌の再生利用についてどのような方法で情報を入手しているのかを分析する。

方法：Q4の回答データを分析する。

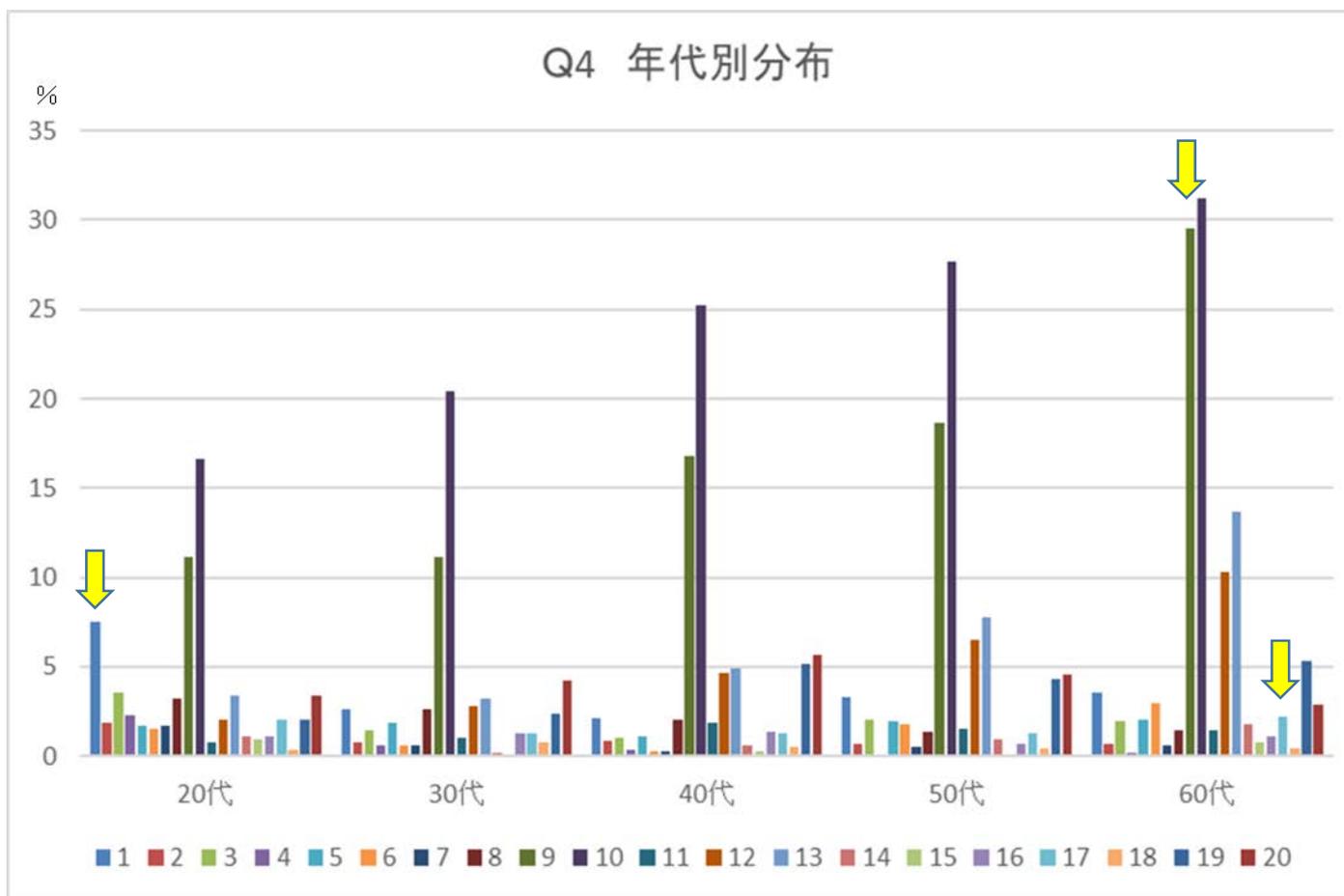
選択回答一覧

1	環境省のホームページ	11	ラジオ
2	その他省庁のホームページ	12	全国紙の新聞
3	地方自治体のホームページ	13	地方紙の新聞
4	大学等研究機関のホームページ	14	雑誌
5	上記以外のホームページ	15	書籍
6	地方自治体の発行する広報資料	16	家族
7	地域自治会の回覧板	17	友人、知人
8	ツイッター、フェイスブック等SNSのロコミ	18	その他
9	テレビ（NHK）	19	特になし
10	テレビ（民放）	20	わからない

2-2 除去土壌の再生利用についての情報入手方法

1) 年代別

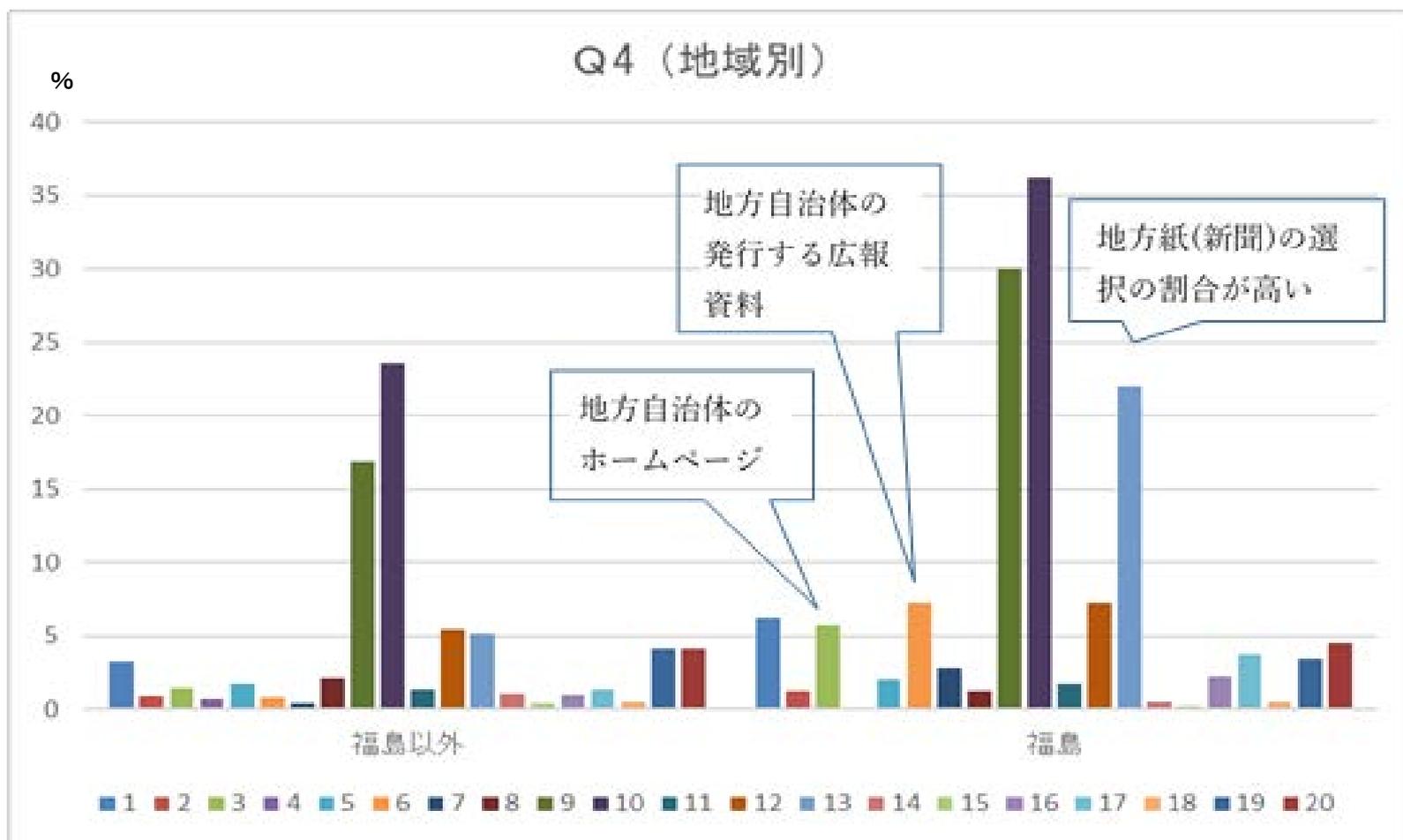
20代の環境省HPと60代のNHK・友人知人が特異的である。また、全年代を通してTVの選択割合が多い。



2-2 除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2) 地域別

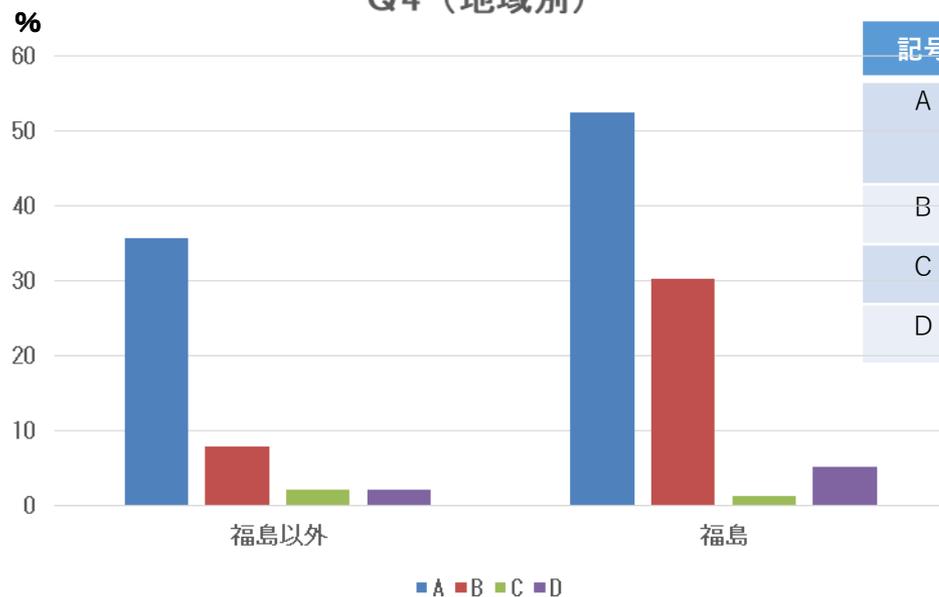
福島ではローカルレベルの情報が豊富であるためと考えられる。



2-2 除去土壌の再生利用についての情報入手方法

全国一律に供給される情報(全国紙、Webページ、テレビ等)と、ローカルな情報(自治体広報等)に分けて集計

Q4 (地域別)



記号	内容	選択番号
A	全国一律に供給される情報	1.2.4.9.10.12.14.15
B	ローカルな情報	3.6.7.11.13
C	全国的な口コミ	8
D	ローカルな口コミ	16.17

1. 分析の概要

2. 分析結果

2-1各回答についての年代・地域別の差異の分析

2-2除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2-3福島県内の状況への理解度

2-4昨年度と今年度との比較

2-3 福島県内の状況への理解度

- ◆ 目的：福島県内の状況をどこまで理解しているかを確認する。
- ◆ 方法：Q11の回答データを分析する。

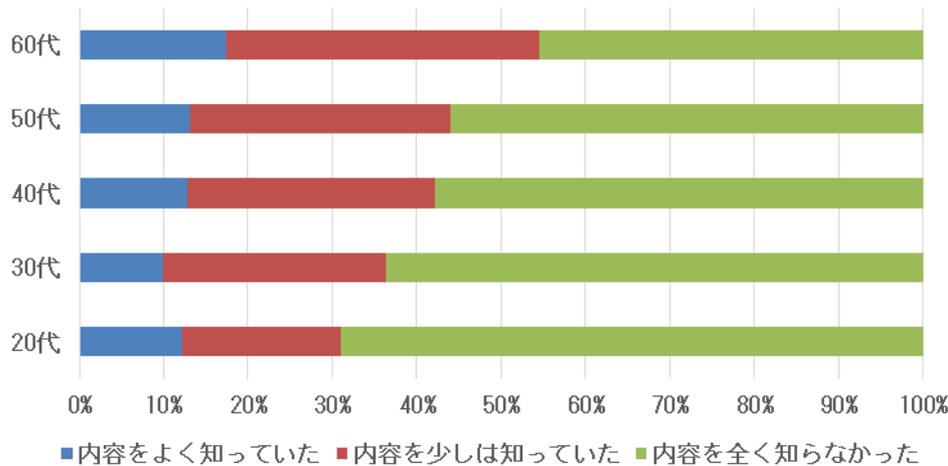
ただし、「内容を良く知っていた」「聞いたことがある内容も少し知っていた」「聞いたことがあるが、内容は全く知らなかった」は聞いたことがあるとして纏め、「聞いたことがなかった」と比較した。

1) 年代別

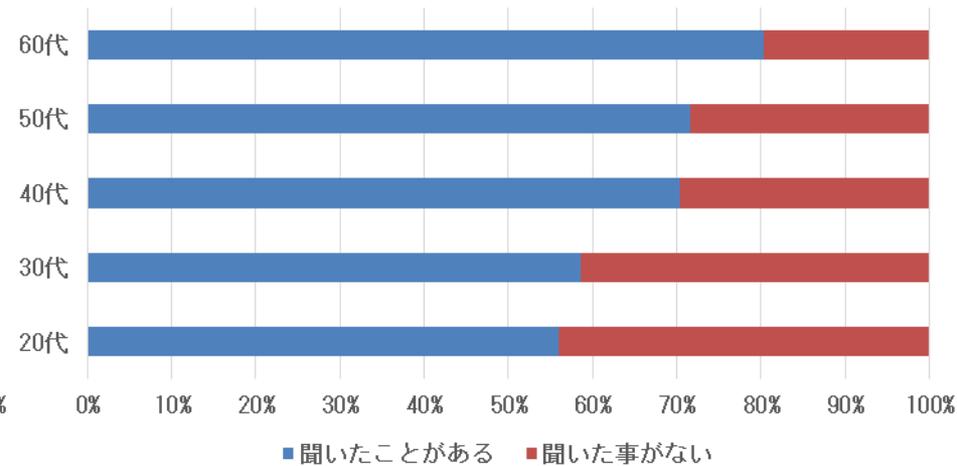
- ◆ 結果：年代によって差があり、年代が高くなると知っている割合が増える。

Q11-1：福島県産の米の全袋検査の実施状況について

Q11-1（年代別）



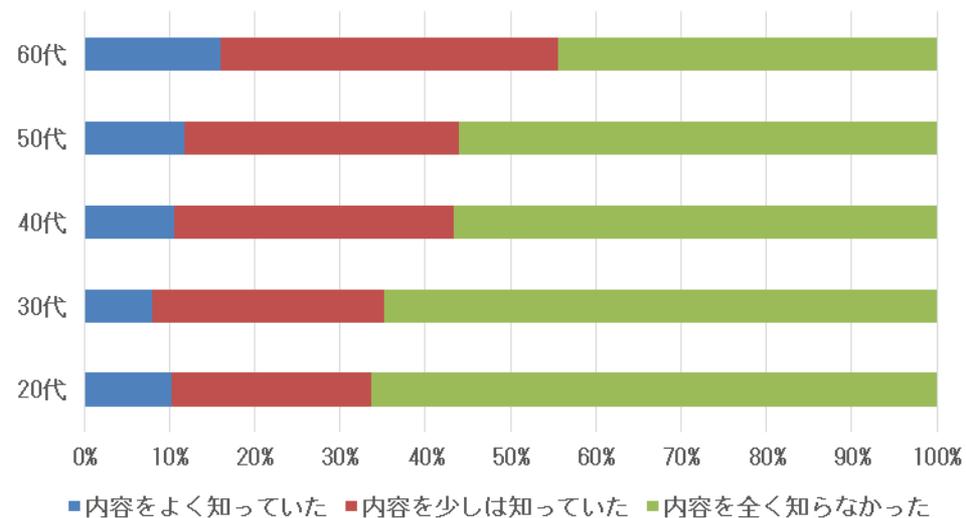
Q11-1（年代別）



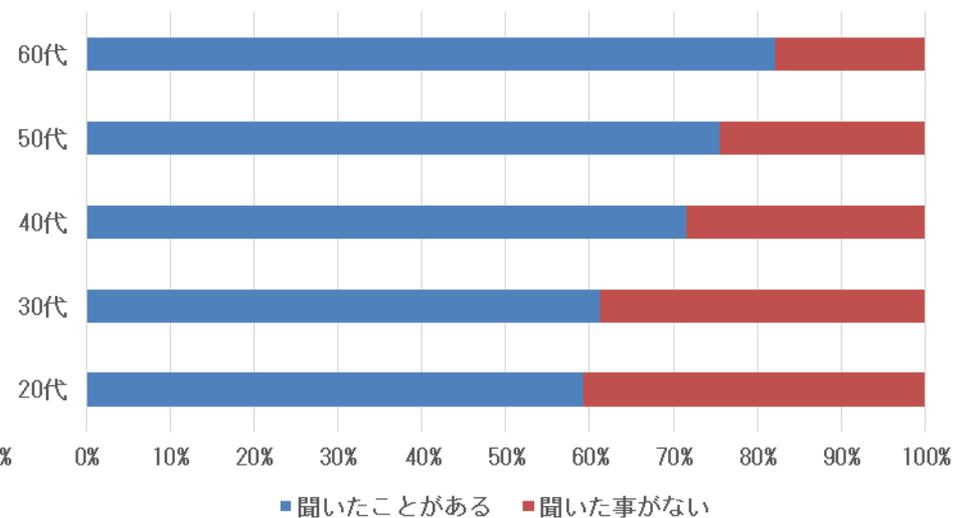
2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-2：福島県産の食品の検査の実施状況について

Q11-2（年代別）



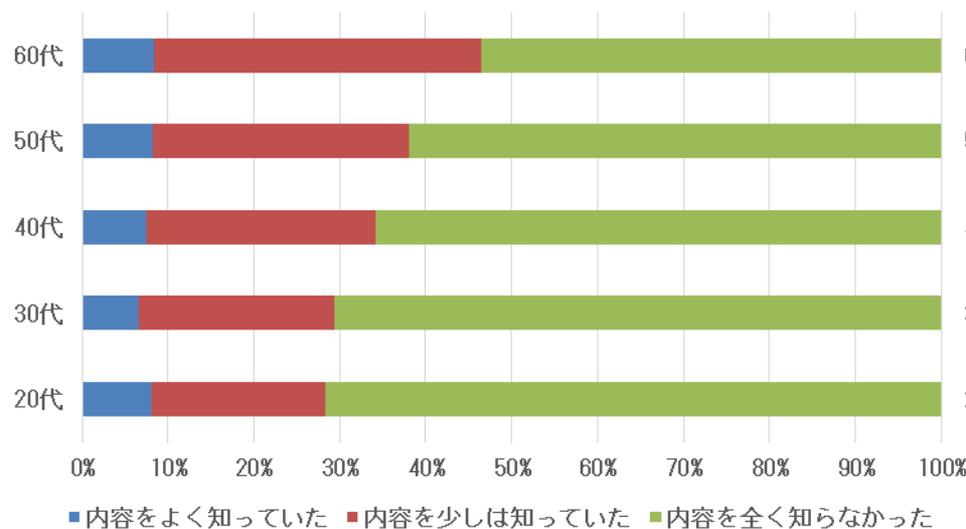
Q11-2（年代別）



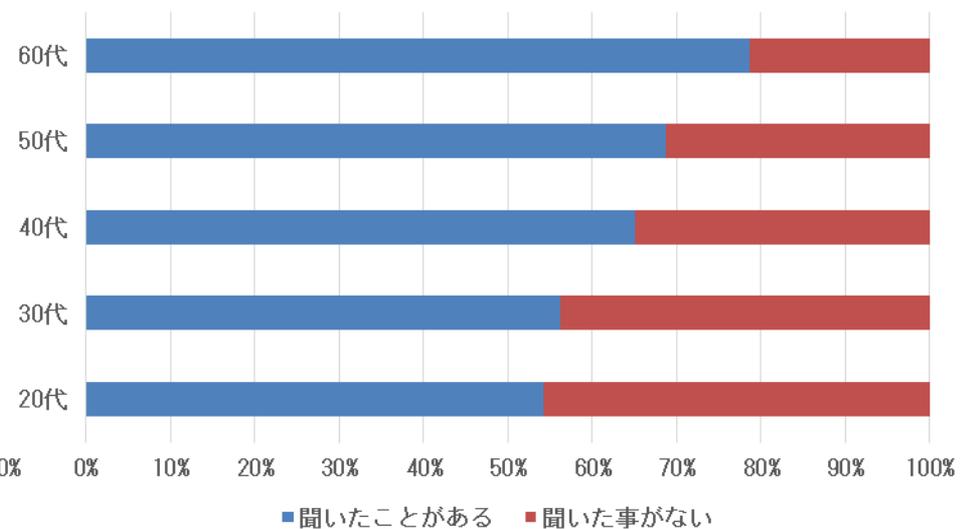
2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-3：福島県内の避難指示区域の解除など区域の見直しの状況について

Q11-3（年代別）



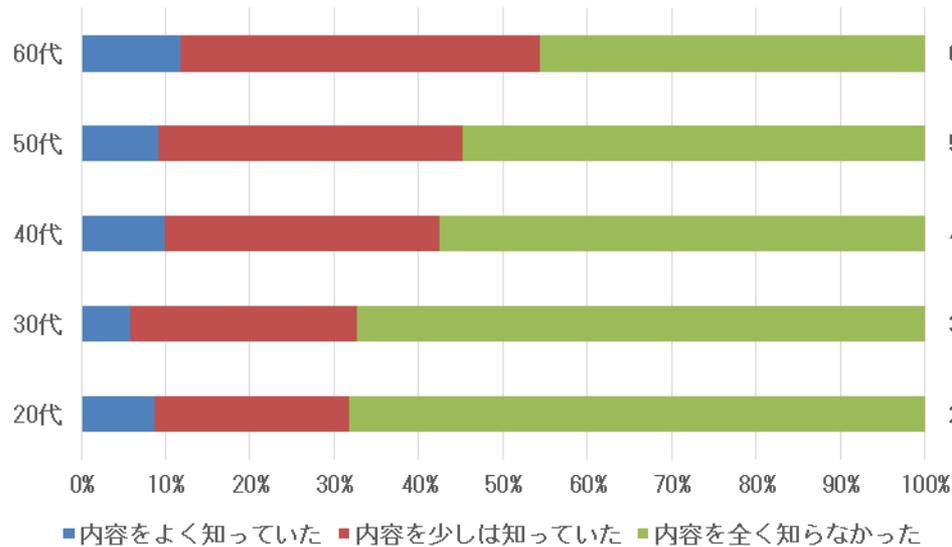
Q11-3（年代別）



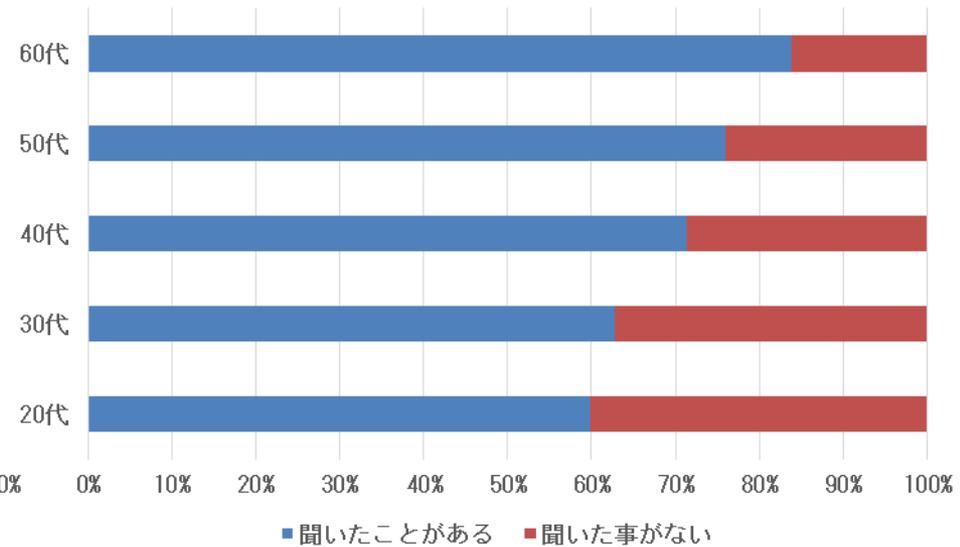
2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-4：福島第一原子力発電所の廃炉に向けた動きについて

Q11-4（年代別）



Q11-4（年代別）



2-3 福島県内の状況への理解度

2) 地域別

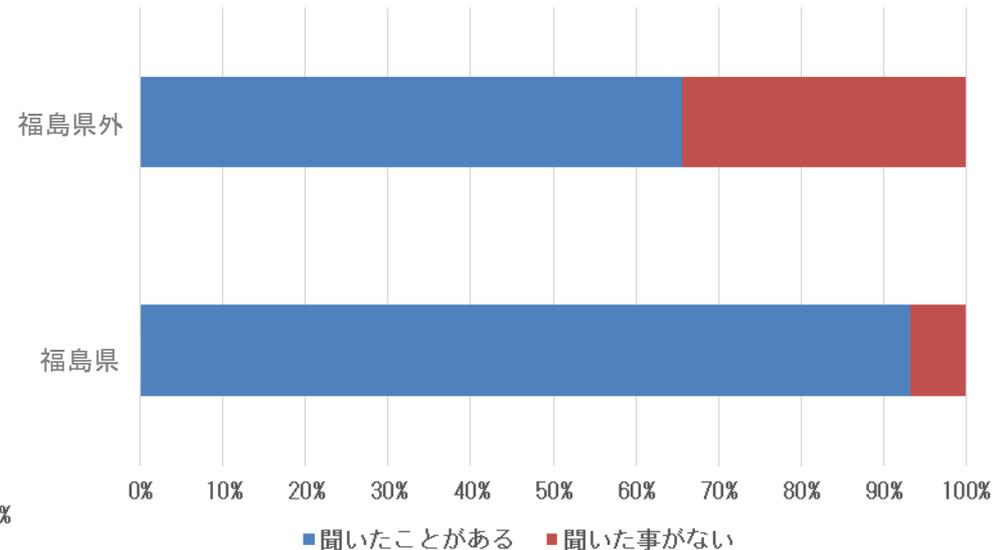
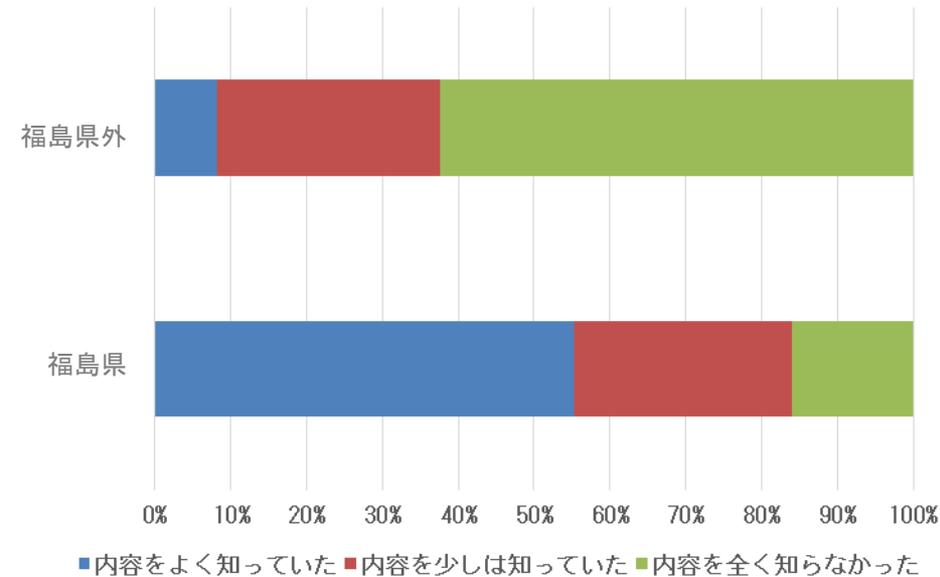
結果：福島県の状況については福島県の回答者のうち、内容を良く知っていたのは約50%であった。福島県外では10%以下となっている。

また、少しは知っていた、を含めると福島県では80%程度となっており、自県の状況について関心度が高いことがわかる。

Q11-1：福島県産の米の全袋検査の実施状況について

Q11-1（地域別）

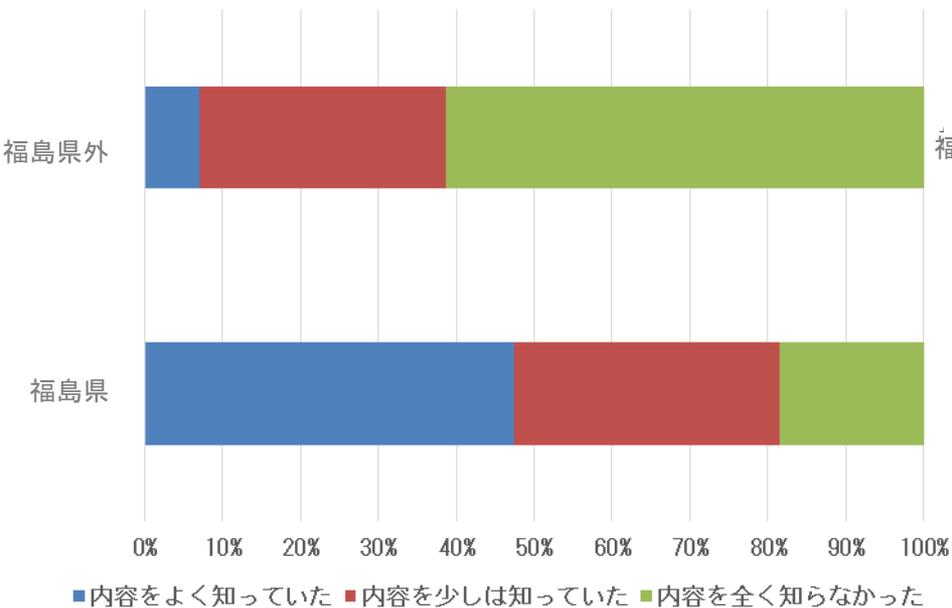
Q11-1（地域別）



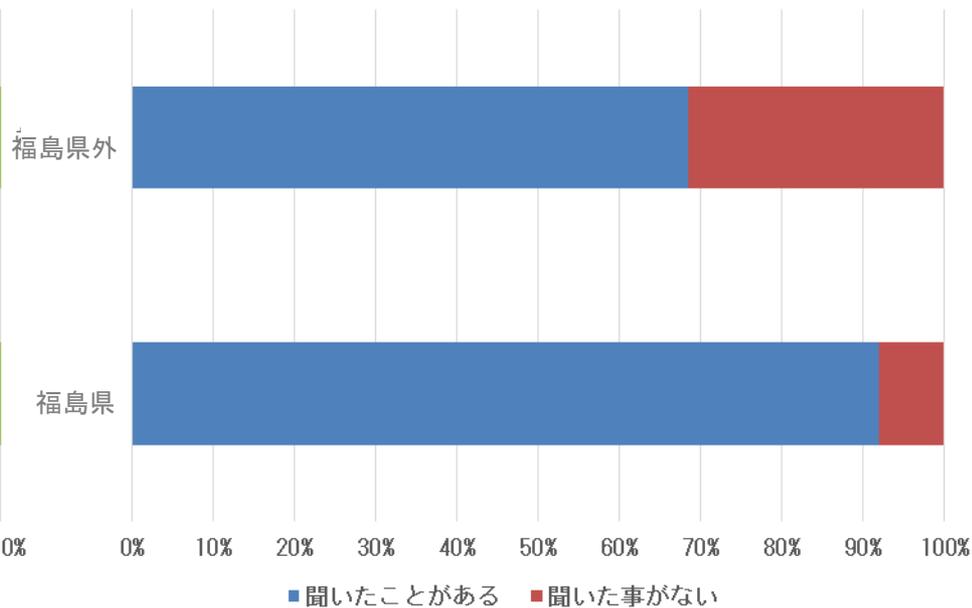
2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-2 : 福島県産の食品の検査の実施状況について

Q11-2 (地域別)



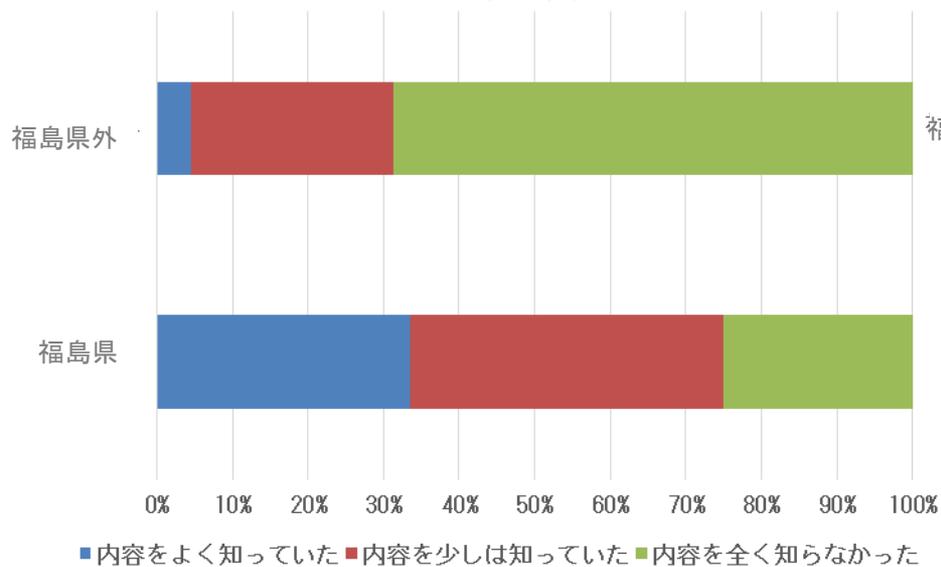
Q11-2 (地域別)



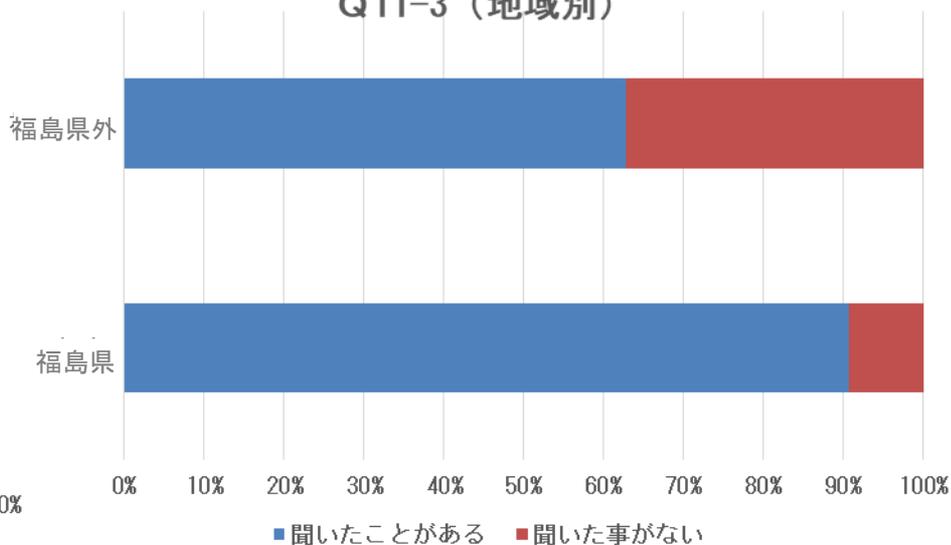
2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-3 : 福島県内の避難指示区域の解除など区域の見直しの状況について

Q11-3 (地域別)

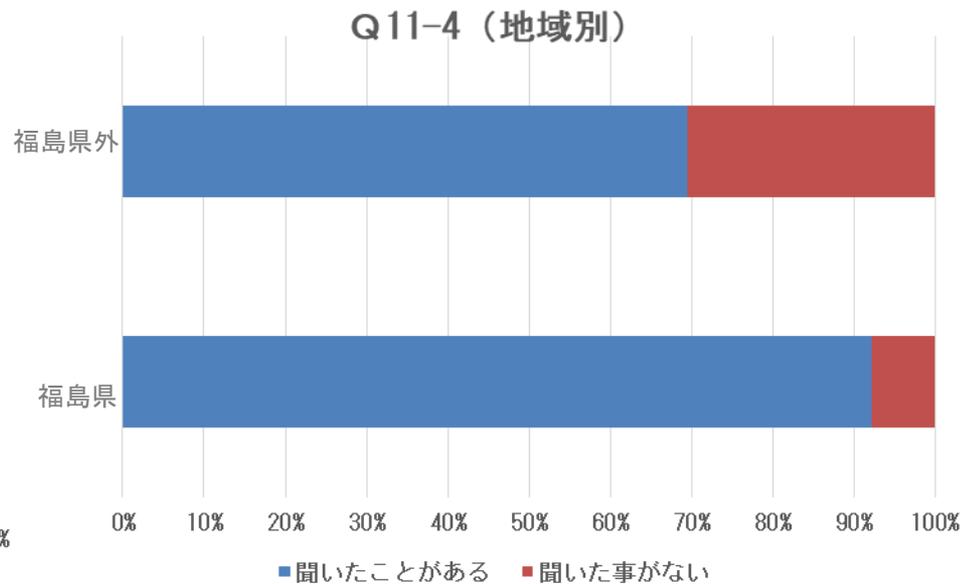
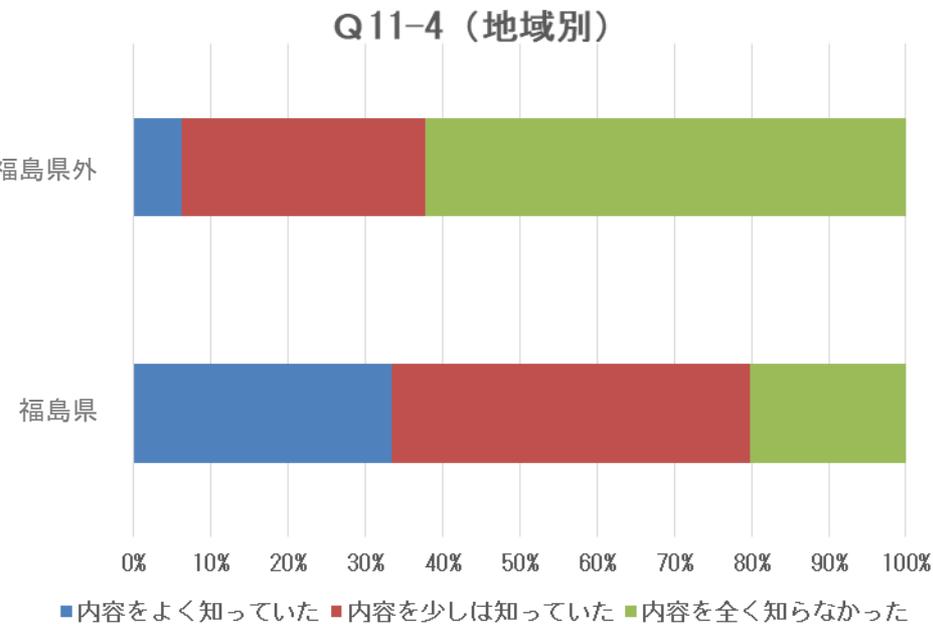


Q11-3 (地域別)



2-3 福島県内の状況への理解度

Q11-4：福島第一原子力発電所の廃炉に向けた動きについて



1. 分析の概要

2. 分析結果

2-1各回答についての年代・地域別の差異の分析

2-2除去土壌の再生利用についての情報入手方法

2-3福島県内の状況への理解度

2-4昨年度と今年度との比較

2-4 昨年度と今年度との比較

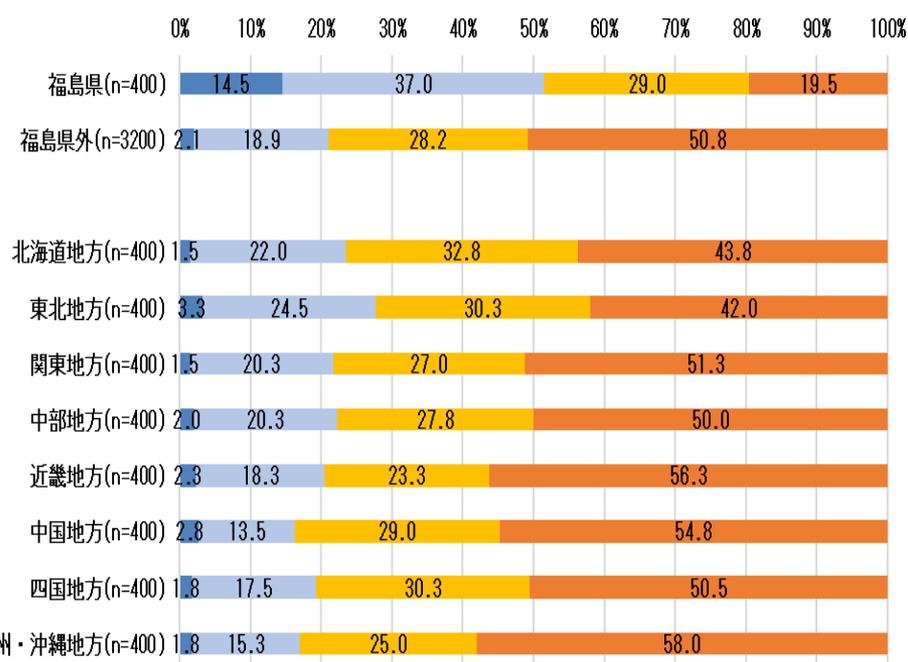
- ◆ 目的：昨年度と同じ質問に対して今年度はどのように変化したかを確認する。
- ◆ 方法：Q 1～10、12、14、18にて福島県とそれ以外の全国で比較検討する。
- ◆ 結果：
 - ・ 除去土壌等の福島県外最終処分についての認知度は、福島県では83.0%（昨年度80.5%）、福島県外では54.7%（昨年度49.2%）であり、今年度と昨年度で大きな変化はなかった（Q 1：「聞いたことがなかった」以外にて）。
 - ・ 情報の入手方法は昨年度と同じ傾向で、テレビ（民放・NHK）が高い。また、福島県では昨年度と同様に地方紙、地方自治体の発行する広報誌、地域自治会の回覧板での情報入手が多く、他県とは傾向が異なっている。
 - ・ 環境省のホームページを見たことがあるかについては、「1度見たことがある」を含めても昨年度と同等である。「見たことがない」は各地方で約80%である。
 - ・ 除去土壌の再生利用での関心事は昨年度と同様に安全性が高くなっている。
 - ・ 中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分を行うこと（Q 1）や除去土壌の再生利用の内容（Q 3）については、今年度も昨年度と同様に、約半数の福島県外の回答者が聞いたことがないと回答。

2-4 昨年度と今年度との比較

Q1：あなたは、除去土壌等が中間貯蔵開始後30年以内に福島県外において最終処分されると法律で定められていることをどの程度ご存知でしたか。

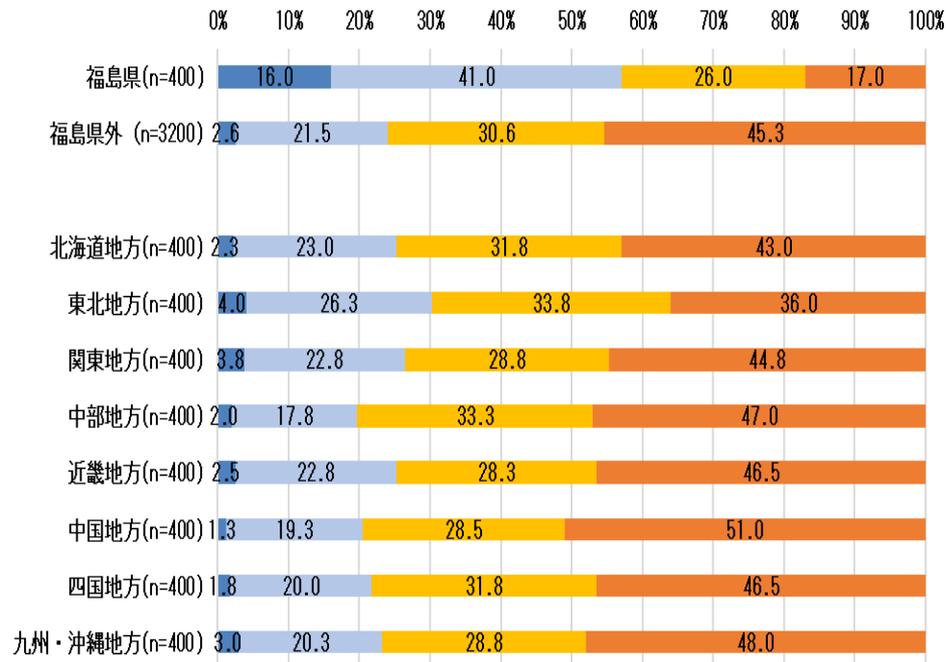
福島県では「内容をよく知っていた」「聞いたことがあり、内容も少し知っていた」との回答が50%以上であるが、その他の地域では20%～30%程度であり、昨年度と同様の傾向である。

【昨年度】



■ 内容をよく知っていた
 ■ 聞いたことがあり、内容も少し知っていた
 ■ 聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった
 ■ 聞いたことがなかった

【今年度】



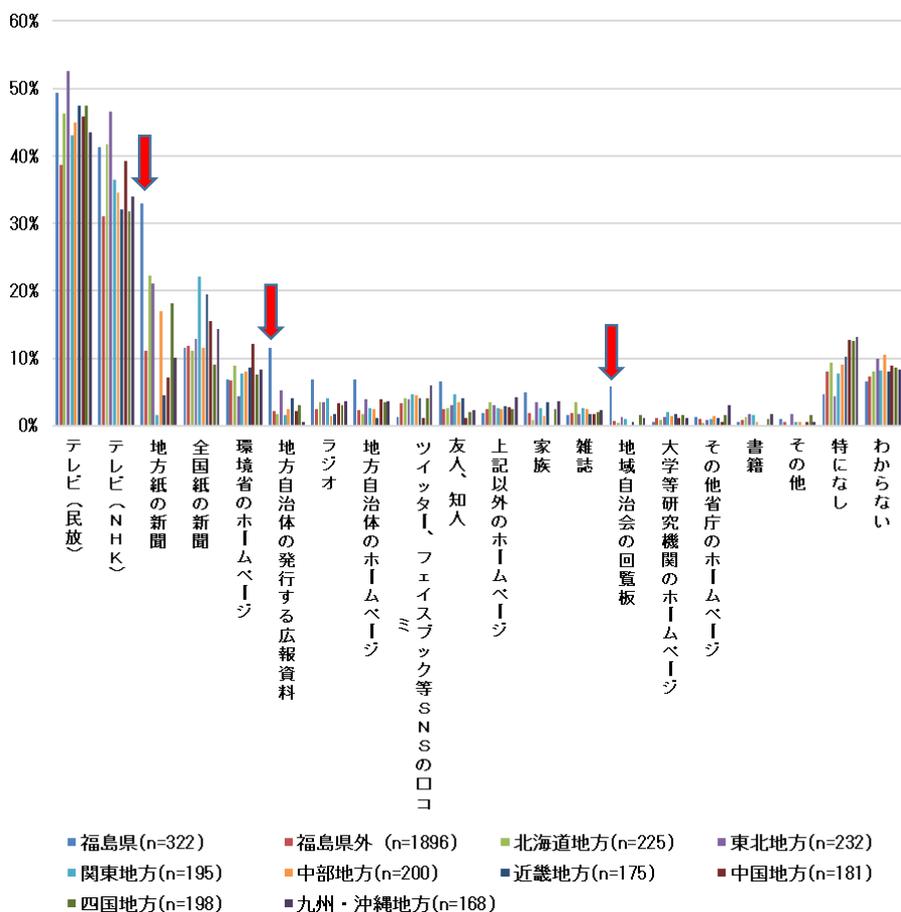
■ 内容をよく知っていた
 ■ 聞いたことがあり、内容も少し知っていた
 ■ 聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった
 ■ 聞いたことがなかった

2-4 昨年度と今年度との比較

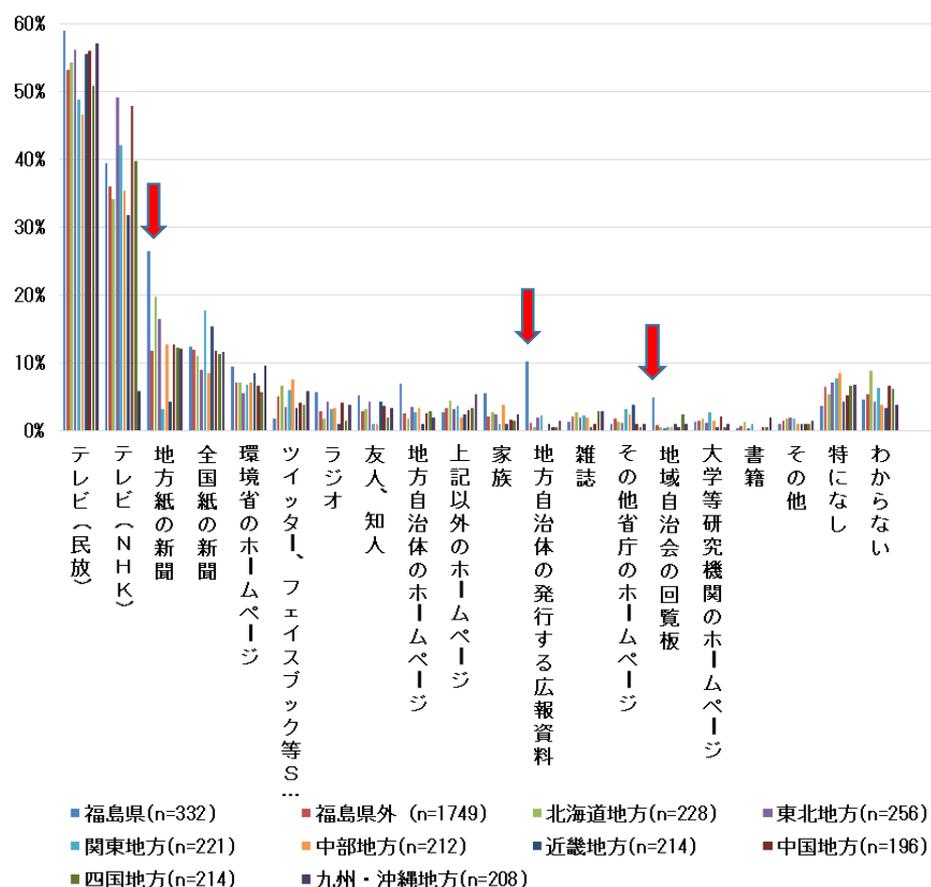
Q2：あなたは、除去土壌等の福島県外での最終処分の方針について、何で情報を得ましたか。（複数回答）

昨年度と同じ傾向で、テレビからの情報入手が高い。福島県は昨年度と同じ傾向で、地方紙、地方自治体の発行する公表資料、地域自治会の回覧板での情報入手が多い。

【昨年度】



【今年度】

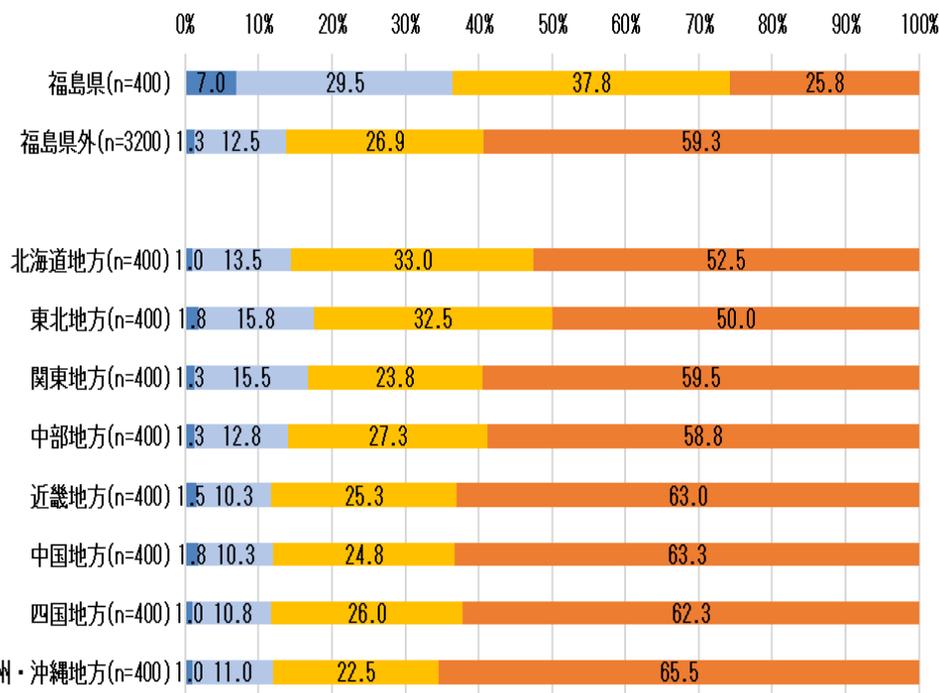


2-4 昨年度と今年度との比較

Q3：あなたは、除去土壌の再生利用について、その内容をどの程度ご存知でしたか。

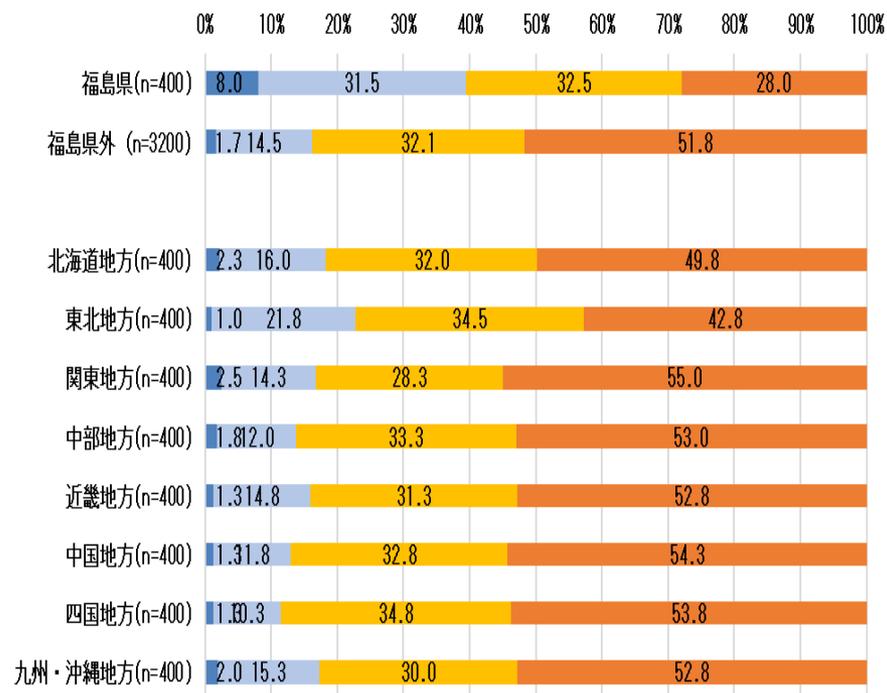
昨年度と同様の傾向で、聞いたことがないとの回答が多くなっている。

【昨年度】



■内容をよく知っていた ■聞いたことがあり、内容も少し知っていた
 ■聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった ■聞いたことがなかった

【今年度】



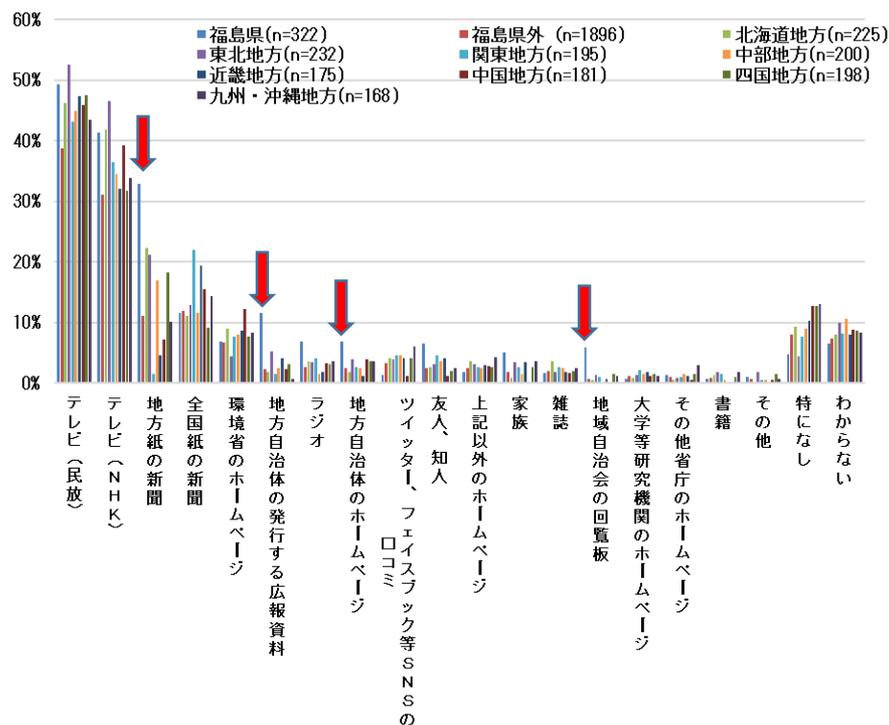
■内容をよく知っていた ■聞いたことがあり、内容も少し知っていた
 ■聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった ■聞いたことがなかった

2-4 昨年度と今年度との比較

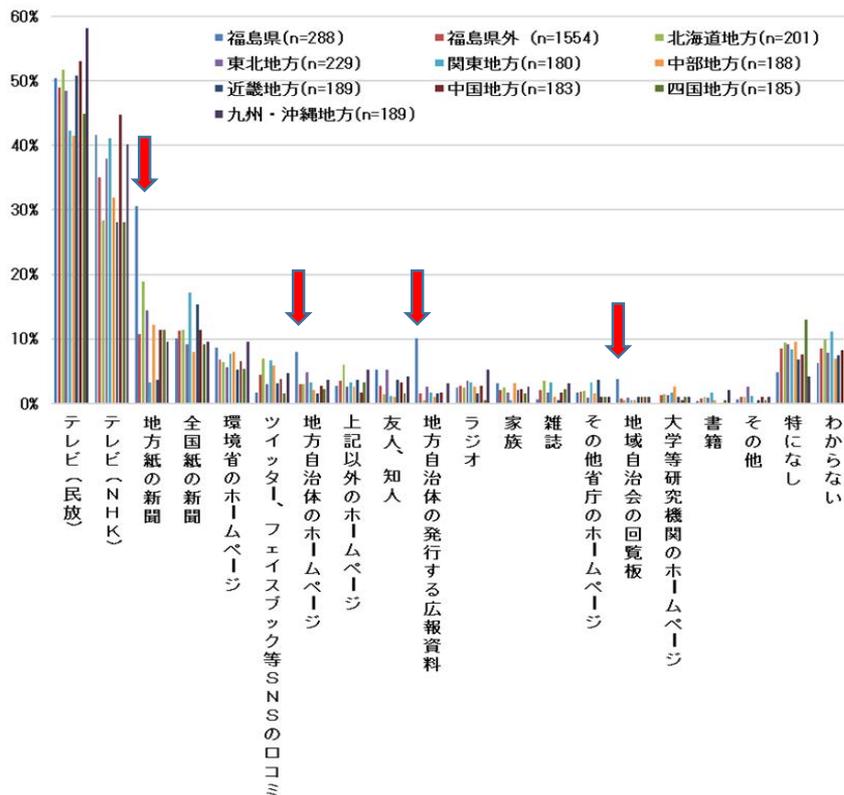
Q4：あなたは、除去土壌の再生利用について、何で情報を得ましたか。（複数回答）

昨年度と同じ傾向で、テレビからの情報入手が高い。福島県は昨年度と同じ傾向で、地方紙、地方自治体の発行する公表資料、地域自治会の回覧板での情報入手が多い。

【昨年度】



【今年度】

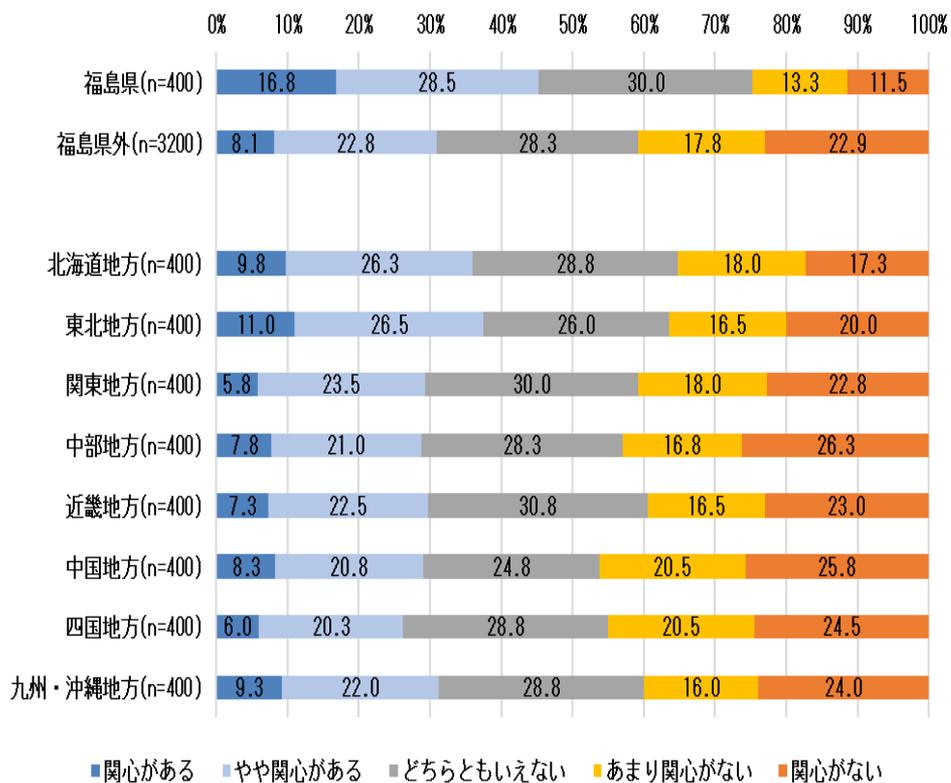


2-4 昨年度と今年度との比較

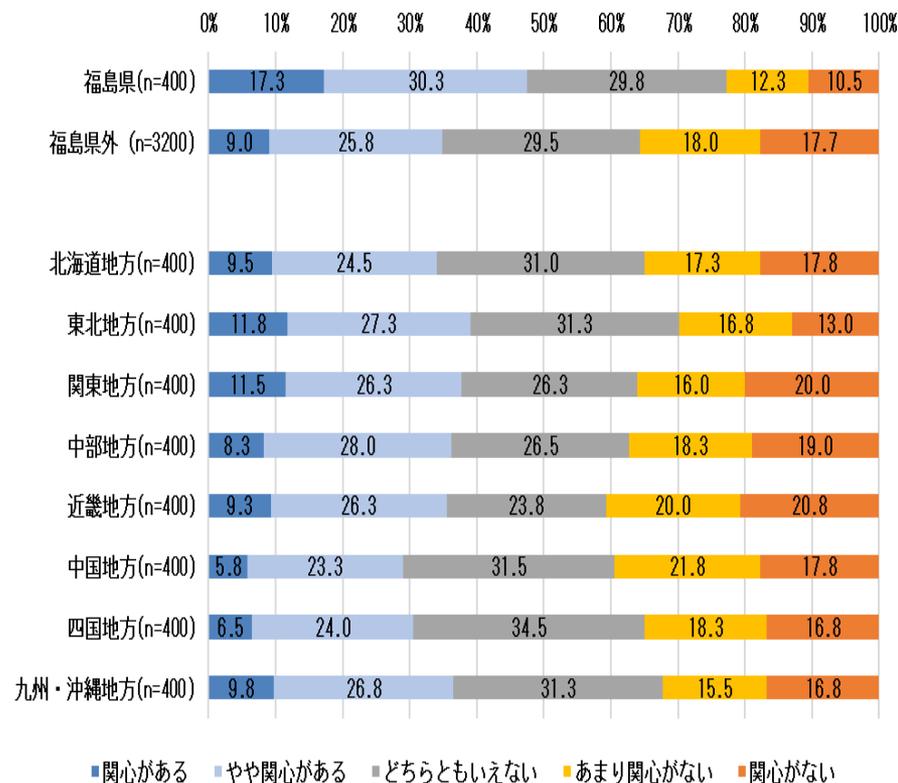
Q5：あなたは、除去土壌の再生利用について、どの程度関心をお持ちですか。

「関心がある」「やや関心がある」を合わせると、今年度はどの地域も30%以上となっている。

【昨年度】



【今年度】

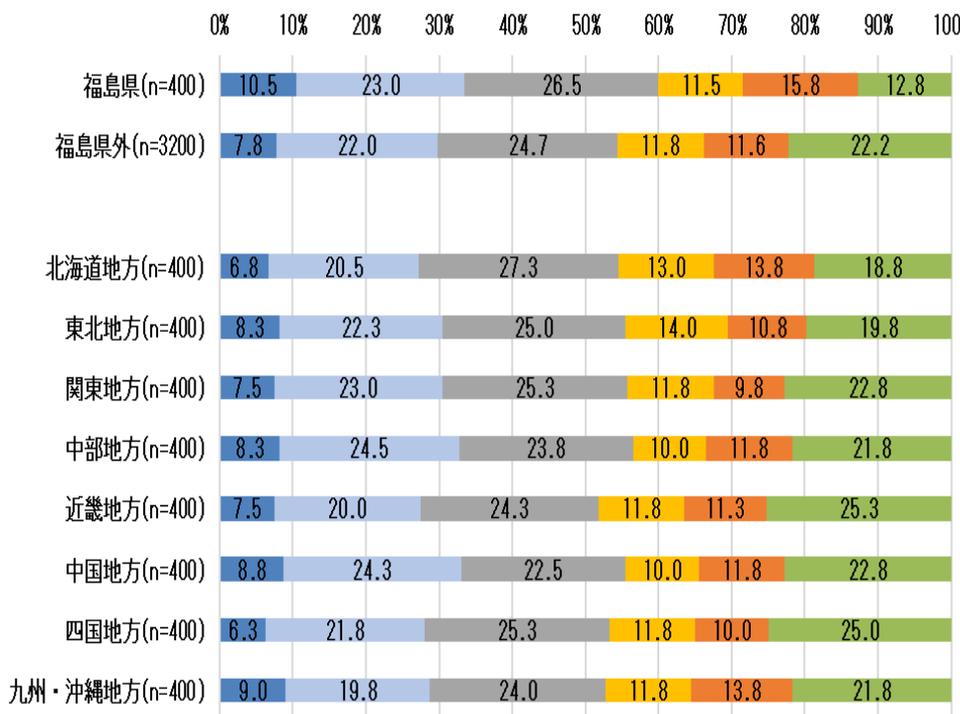


2-4 昨年度と今年度との比較

Q6：あなたは、除去土壌を再生利用する必要があると思いますか。

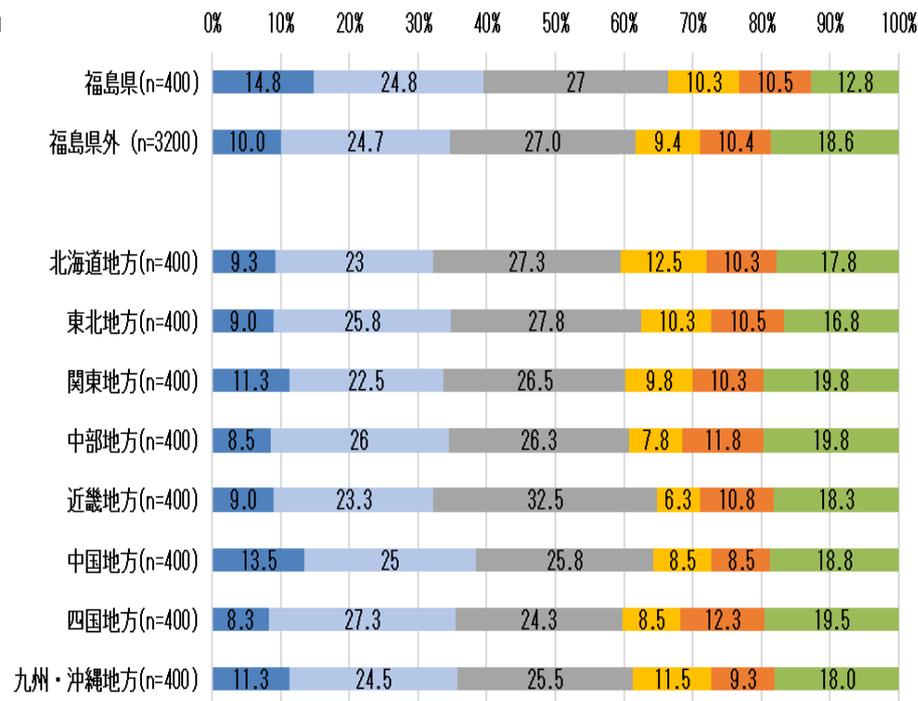
「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると今年度は各地域で30%以上となっている。

【昨年度】



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

【今年度】



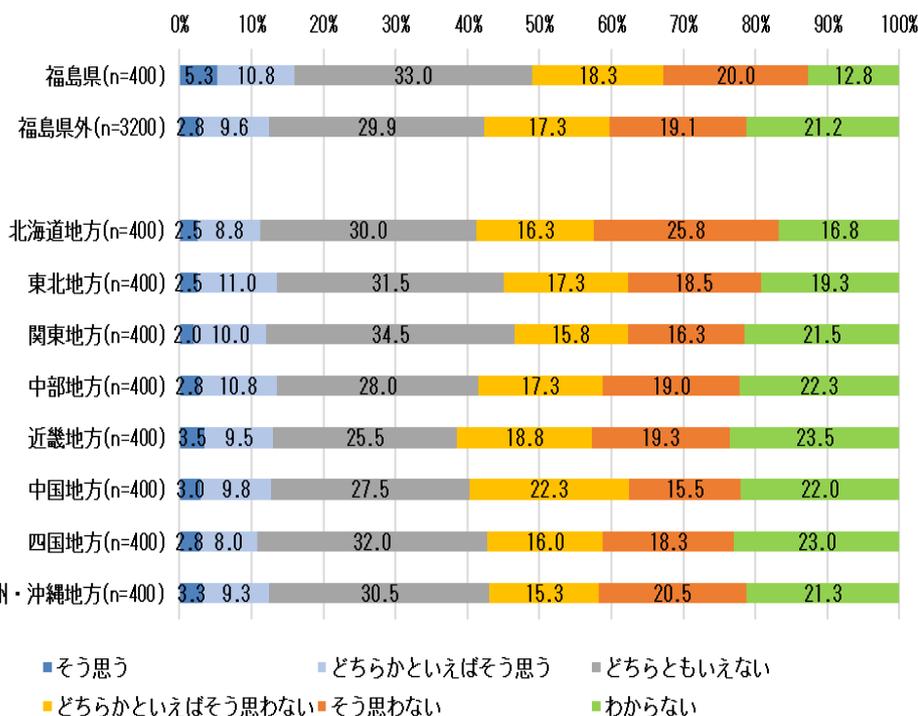
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

2-4 昨年度と今年度との比較

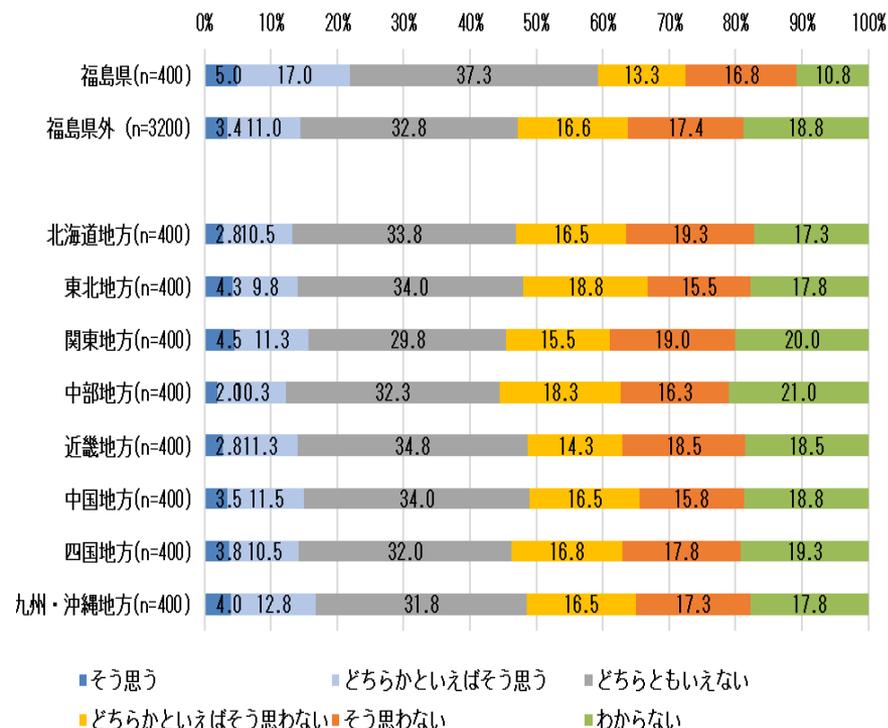
Q7：あなたは、除去土壌の再生利用は安全だと思いますか。

安全と考える回答の割合は昨年度と同様に高いとは言えないが、「どちらともいえない」は、どの地域も約30%である。

【昨年度】



【今年度】

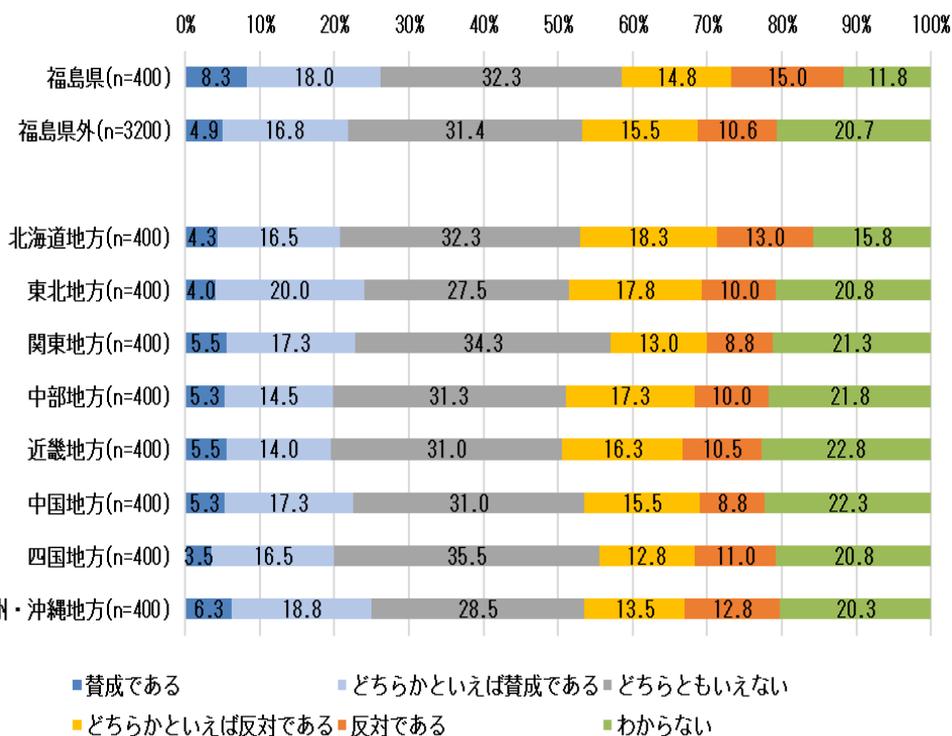


2-4 昨年度と今年度との比較

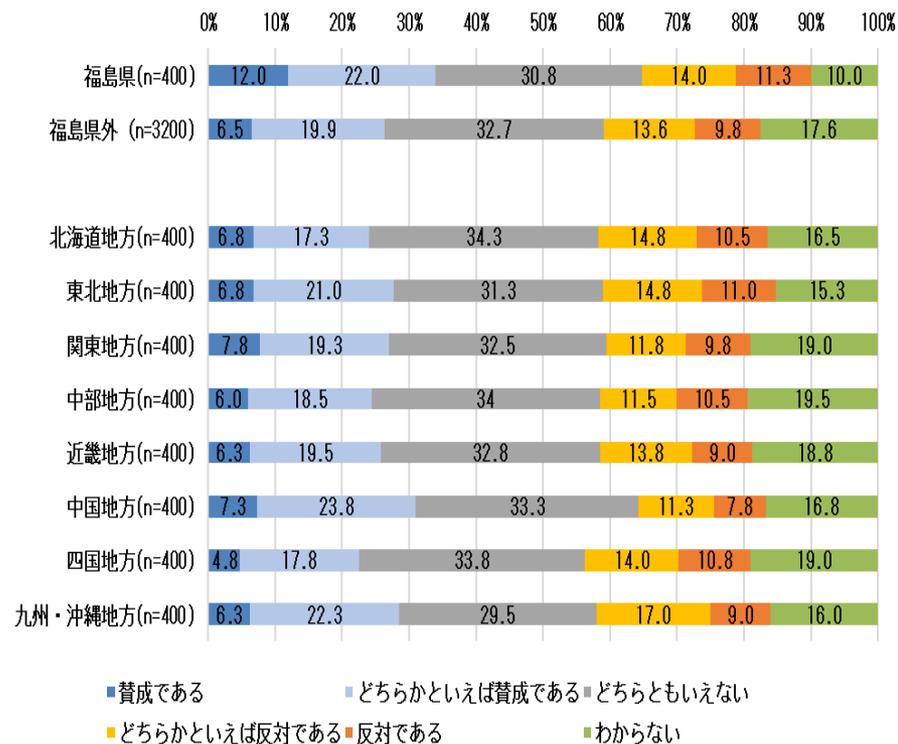
Q8：あなたは、除去土壌の再生利用を進めることに賛成ですか、それとも反対ですか。

賛成とする回答の割合は昨年度と同様に高いとは言えないが、「どちらともいえない」はどの地域も約30%である。

【昨年度】



【今年度】

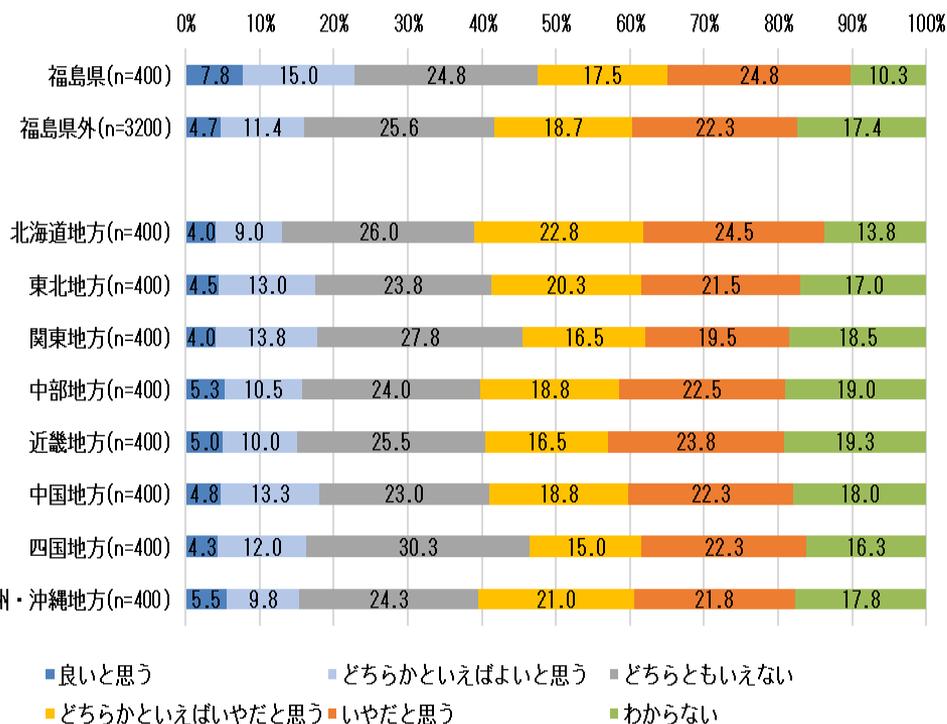


2-4 昨年度と今年度との比較

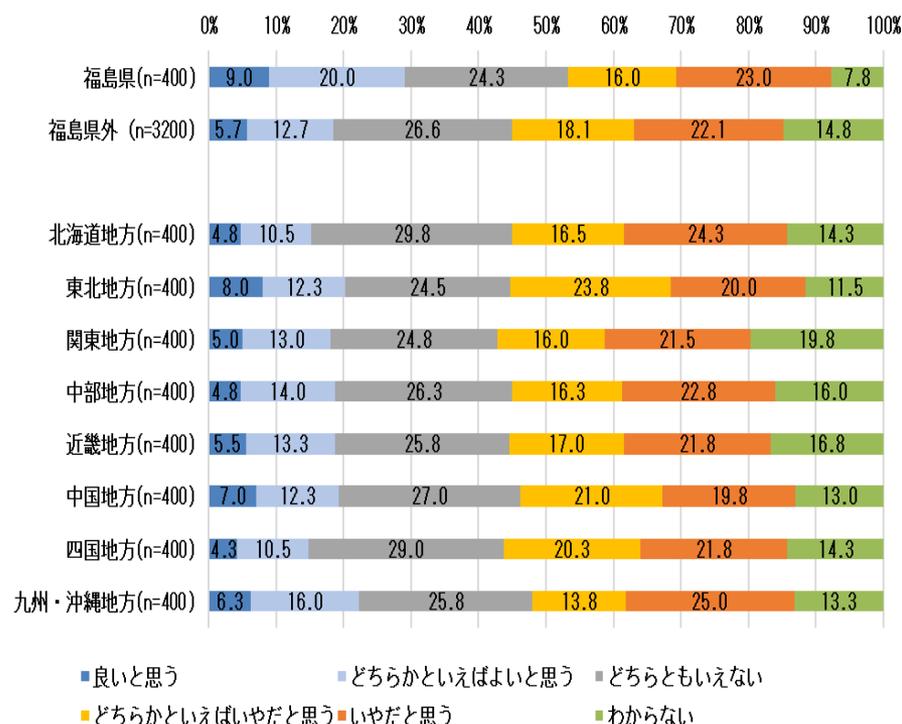
Q9：あなたは、自身のお住まいの地域で除去土壌の再生利用が実施されても良いと思いますか、それともいやだと思いますか。

良いと考える回答の割合は昨年度同様に高いとは言えないが、「どちらともいえない」はどの地域も約25%である。

【昨年度】



【今年度】

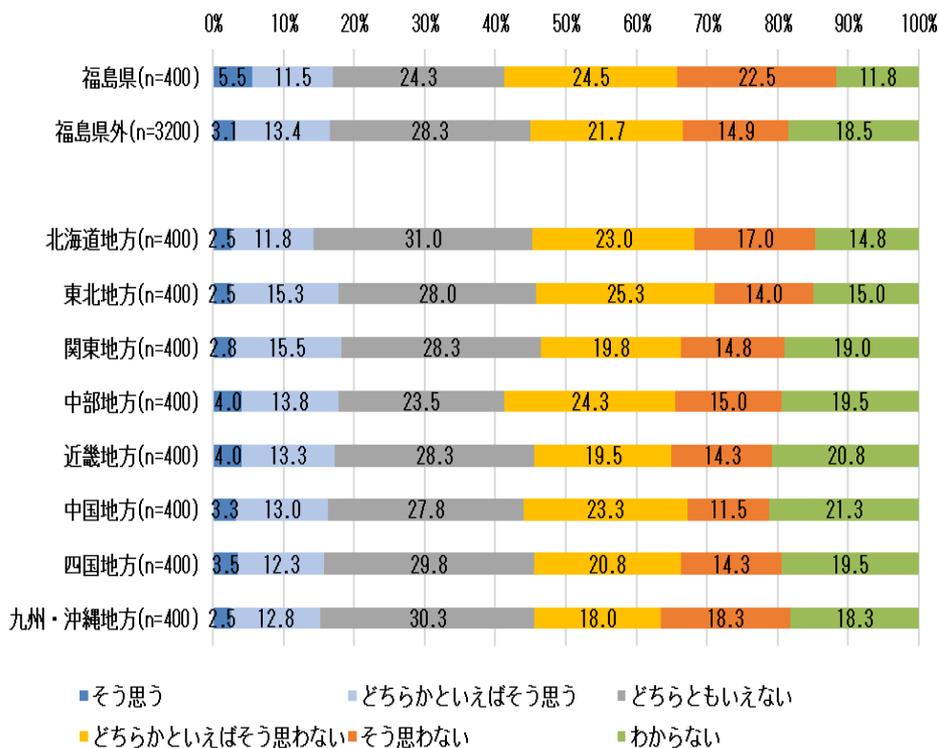


2-4 昨年度と今年度との比較

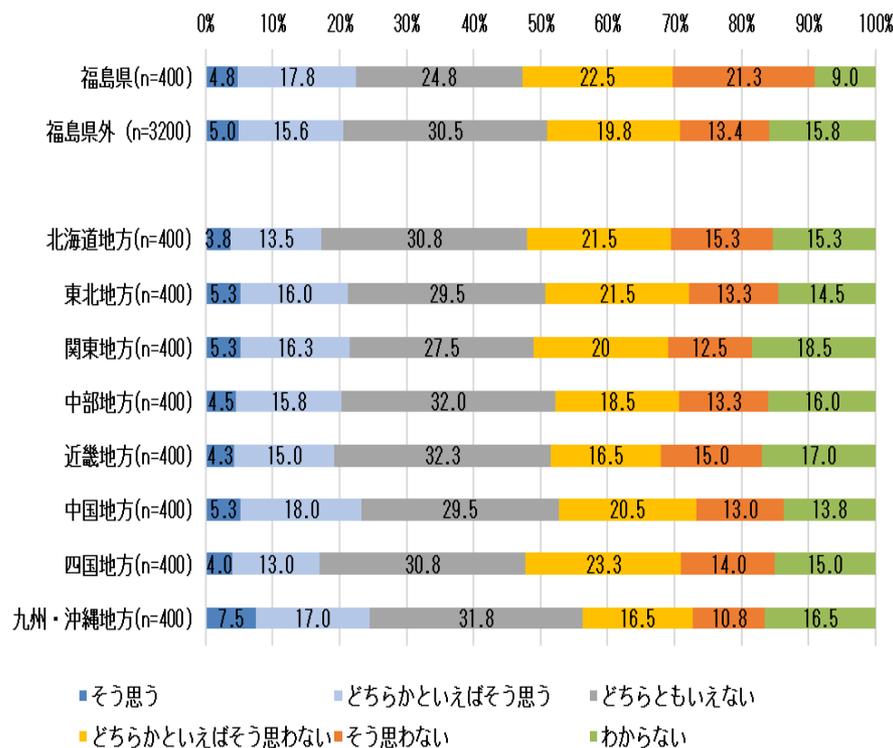
Q10：あなたは、除去土壌の再生利用を進めることについて社会的に理解を得ることは可能だと思いますか。

そう思うと考える回答の割合は昨年度同様に高いとは言えないが、「どちらともいえない」はどの地域も約30%である。

【昨年度】



【今年度】

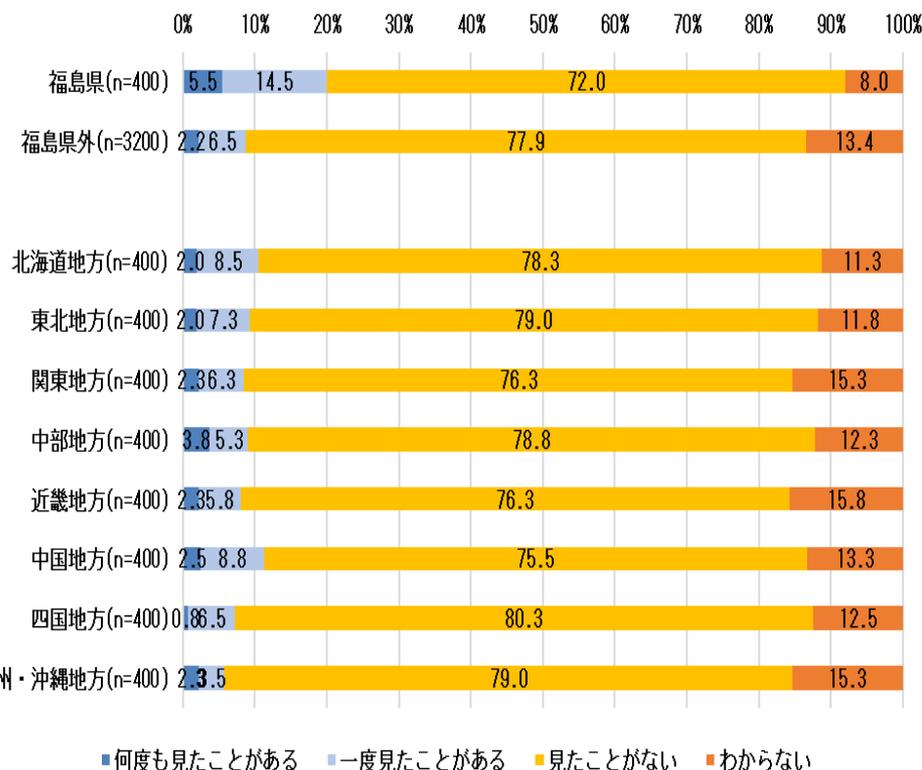


2-4 昨年度と今年度との比較

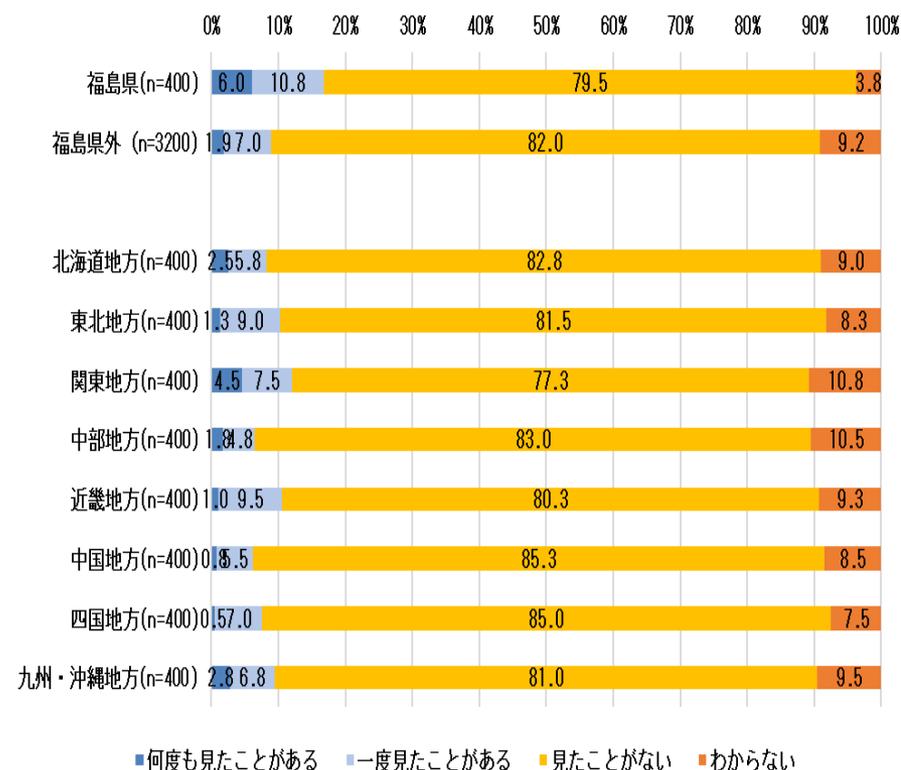
Q12：あなたは、除去土壌の再生利用に関する環境省のホームページを見たことがありますか。
また、どの程度見たことがありますか。

「見たことがある」は昨年度と同等であり、「見たことがない」との回答は約80%である。

【昨年度】



【今年度】

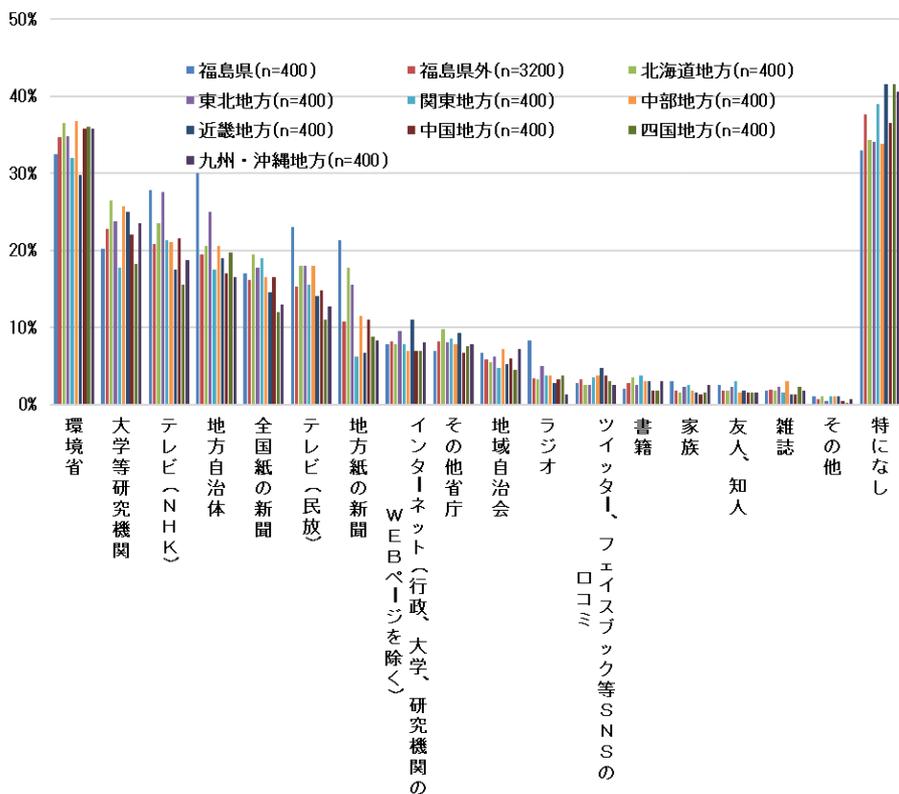


2-4 昨年度と今年度との比較

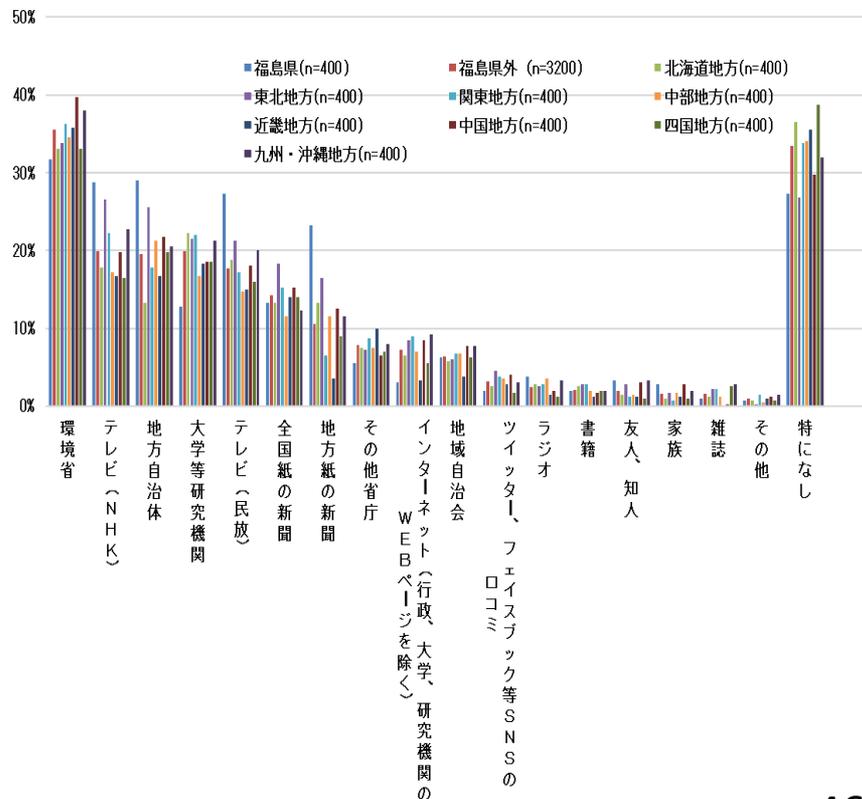
Q14：除去土壌の再生利用に関する情報の発信源として信頼できると考えられる機関・媒体をお答えください。（複数回答）

昨年度同様の傾向で環境省からの情報が信頼されると考えられている。福島県では地方自治体、テレビ（民放）、地方紙の新聞が他の地方に比べて高い傾向にあるのは昨年度と同様である。

【昨年度】



【今年度】

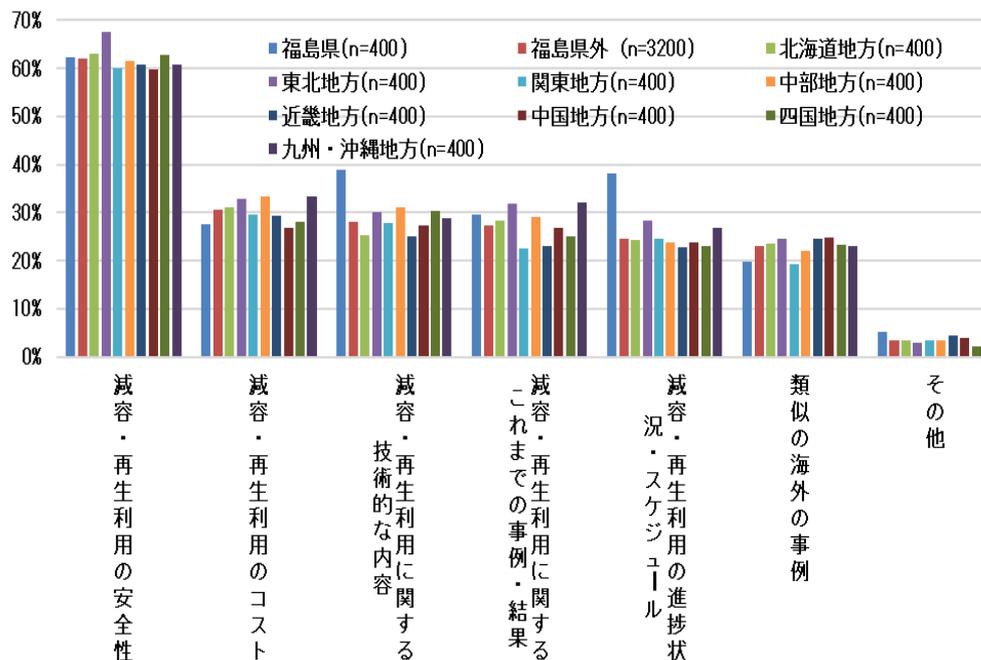


2-4 昨年度と今年度との比較

Q18：除去土壌の再生利用に関する以下の内容で特に関心のある事項をお答えください。（複数回答）

除去土壌の再生利用での関心事は、昨年度と同様に「減容・再生利用の安全性」が高い。

【昨年度】



【今年度】

